

参考資料編

- 参考資料一 1 水陸両用車の運行事例
- 参考資料一 2 実証運行に係る法令上の手続き
- 参考資料一 3 釧路港潮位
- 参考資料一 4 ルート案内
- 参考資料一 5 アンケート票
- 参考資料一 6 実証運行準備
- 参考資料一 7 実証運行の実施状況
- 参考資料一 8 乗車モニターアンケート調査結果
- 参考資料一 9 地元関係者アンケート結果
- 参考資料一 10 経費概算
- 参考資料一 11 乗車率の設定及び営業日数
- 参考資料一 12 年間必要マーケットボリューム試算の感度分析

【水陸両用車の運行事例】

海外では、イギリス・アメリカ・シンガポール・オーストラリアなどの主要観光地で水陸両用車が導入され、観光地のアクティビティの一つとして活用されている。

ボストンでは、全バスツアー客の約4割が水陸両用車を体験（2003年4月時点）するなど観光アクティビティとして定着しており、2005年ハリケーンカトリーナ（ニューオーリンズ）による被災の際には、被災者救出に活用された例もみられる。

1) イギリス リヴァプール市

The Yellow Duckmarine

○運行エリア：主要観光地を巡り複数の運河を航行

○運行回数：5回／日

○所要時間：1運行あたり60分

○定員：30人

○車両数：3両（うち1両は予備車両）

○運賃：オフ 10.00ポンド（約2,200円）

オン 11.95ポンド（約2,600円）



図-19 リヴァプール市の水陸両用車

2) アメリカ サンフランシスコ市

○運行エリア：主要観光地を巡り、サンフランシスコ湾を航行

○運行回数：4回／日

○所要時間：1運行あたり90分

○定員：32人

○運賃：大人 \$ 35（約4,200円）



図-20 サンフランシスコ市の水陸両用車

国内では、大阪市や神戸市で通年での営業運行が行われているほか、栃木県の川治ダム・湯西川ダム周辺において水源地域活性化のための社会実験事業として運行されている。

表－１０ 水陸両用車の運行事例

運行地域	大阪市中心部 (チャレンジャー号)	神戸市中心部 (スプラッシュI号)	大阪市中心部 (観光タクシー がいが号)	栃木県 川治ダム周辺 (LEGEND零ONE号)
運行期間	通年	通年	通年	平成20年7～11月
運行回数	4～5回／日	4回／日	予約制	5回／日
所要時間	90分	80分	120分～	80分
料 金	3,600円	3,000円	48,000円～	3,000円
定 員	38名	20名	3名	42名
長 さ	12m	9m	4.7m	12m
運行会社	日本水陸観光(株)	(株)ダックツアー・タイコ	日本水陸観光(株)	日本水陸観光(株)
そ の 他	平成19年6月の お披露目のあと、 栃木へ貸し出し。 同12月より通年営業運 行開始。	平成19年10月より通年 営業運行開始。	平成20年1月より通年 営業運行開始。	国産第1号の水陸両用 バス。平成20年7月、 大阪でお披露目のあ と、川治ダムで営業運 行開始。

※ 上記のほか、平成20年12月27日から平成21年3月19日までの期間、沖縄県那覇市で日本水陸観光(株)が「LEGEND零ONE号」による運行を行っている。



図－２１ 大阪ダックツアー ルートマップ (出典：日本水陸観光(株)HP)



図-22 神戸ダックツアー ルートマップ (出典: (株)ダックツアー・タイコHP)



図-23 大阪水陸両用観光タクシー コースマップ (出典: 日本水陸観光(株)HP)



図-24 川治ダムツアー ルートマップ (出典：日本水陸観光㈱HP)



図-25 沖縄・美ら海ダックツアー ルートマップ (出典：日本水陸観光㈱HP)

【実証運行に係る法令上の手続き】

水陸両用車を公共交通機関として運行（運航）するにあたっては、陸上の営業運行に係る法令と、海上（河川）の営業運航に係る法令の両者が適用され、双方の運送事業の許可が必要となり、各事業に定められた基準に沿って運行（運航）することが求められる。

陸上を営業運行する際の関係法令

水陸両用車が自動車として陸上を営業運行する際には、道路運送法が適用される。

公共交通として、路線を定めて定期に運行を行い、乗合（個々の旅客から運賃を受受）旅客を運送する場合、「一般乗合旅客自動車運送事業」（道路運送法第3条第1項イ）に該当する。

海上（河川）を営業運航する際の関係法令

水陸両用車を旅客船として海上（河川）を営業運航する際には、海上運送法が適用される。

公共交通として、一定の航路に運行ダイヤを設定して旅客の運送を行う場合、「一般旅客定期航路事業」（海上運送法第2条第5項）に該当する。

表-11 主要な手続き・根拠

項目	一般乗合旅客自動車運送事業	一般旅客定期航路事業
路線・航路の新設	事業計画の認可 (道路運送法第15条第1項)	事業の許可 (海上運送法第3条第1項)
運賃・料金の設定	上限運賃料金認可 (道路運送法第9条第1項) 実施運賃料金届出 (道路運送法第9条第1項)	届出 (海上運送法第8条第1項)
運送約款の設定・変更	認可 (道路運送法第11条第1項)	認可 (海上運送法第9条第1項)
運行（運航）計画	届出 (道路運送法第15条の3第1項)	届出 (海上運送法第6条)

※ 上記事業に係る関係法令の他、水陸両用車の構造等に関する関係法令を満たさなければならない。

具体的には、1) 自動車としての車両構造に係る関係法令等を満たし、国が行う自動車検査に合格すること、2) 船舶としての構造・設備に係る関係法令等を満たし、国が行う船舶検査に合格することが必要となる。

実証運行の実施方法次第でその手続きレベルが大きく異なってくるが、その差が大きく出る内容としては、陸上運行においては「有償運行」とするか「無償運行」とするか、海上運航においては、「4日以上」とするか「3日以内」とするかの違い。

すなわち、実証運行を「有償運行」で行う場合には、陸上運行に関して「一般乗合旅客自動車運送事業の事業計画変更認可申請」を運行の約2ヶ月前に行う必要があるが、「無償運

行」で行うこととした場合はこの手続きが不要となる。また、海上運航に関して、「有償」の場合に必要な「運送約款」及び「運賃・料金」の公示が「無償」の場合には不要となる。

また、実証運行を「4日以上」行う場合は、海上運航に関して「旅客不定期航路事業許可の申請」を運航開始の2ヶ月前までに行わなければならないが、「3日以内」の場合は「人の運送をする内航不定期航路事業開始届出申請」を運航開始の30日前までに行うこととされ、必要書類も含め手続きはかなり簡素化できることとなる。

今回はこれらの手続き等の条件、実験実施スケジュール、実験実施予算等を勘案し、実証運行計画策定の基本的な考え方を以下のとおりとした。

- ・実証運行は、乗客等からは運賃を収受しないで、無償で運行する。
 - ・無償運行とすることで、乗車モニターは事前応募のスタイルを原則とする。
 - ・運行日数は3日間とする。
- 《具体的には平成20年9月20日（土）、21日（日）、23日（火・祝日）》

表－12 ケース別手続き・許認可の整理・検討 陸上

区分		届出・許可申請等		期限、その他備考
共通	実験前に必要となる神戸での手続	届出	一般乗合旅客自動車運送事業の事業計画変更事前届出	神戸の運行が休止となる 路線休止の届出：30日前までに 神戸の運行台数が2台から1台になる 減車届：1週間程度前まで 神戸の運行台数が減り、便も減る場合 ダイヤ変更届：30日前（短縮可能性あり）
	実験後に必要となる神戸での手続	届出	一般乗合旅客自動車運送事業の事業計画変更事前届出	増車届・路線再開届・ダイヤ変更届など 神戸運輸監理部と要協議
有償1	ダック社が路線定期運行する場合	事前協議等	ルートを設定し、関係する道路管理者及び公安（警察）への安全運行に関する事前確認。	設定ルート図、車両の諸元等が必要
		認可申請	一般乗合旅客自動車運送事業の事業計画変更認可申請（法第15条第1項）	テスト運行の約2ヶ月前 以下を早めに手配できれば申請書の事前準備が可能 ・営業所・各施設の住所 ・道路管理者毎のルートのキロ程 ・車検証
		届出	運賃の設定届出	・認可申請と同時 ・原則として任意設定による届出が可能
		届出	運行管理者、整備管理者の選任届出	・認可申請時に予定者の「報告」 ・実験前のナンバー変更時までに
		釧路営業所の新設手続	ナンバー変更	神戸 青 → 釧路 青
			運行管理者・整備管理者の選任	神戸との二重専任不可
			営業所、休憩施設、車庫、休憩施設、車庫、停留所の確保・手配 登録免許税が必要	
実験終了後	ナンバー変更	釧路 青 → 神戸 青		
有償2	陸上はくしろバス・阿寒バス等の地元の事業者がダック社からバスを借り受けて路線定期運行をし、海上はダック社が運航する場合。	事前協議等	ルートを設定し、関係する道路管理者及び公安（警察）への安全運行に関する事前確認。	設定ルート図、車両の諸元等が必要
		認可申請	一般乗合旅客自動車運送事業の事業計画変更認可申請（法第15条第1項）	
		ナンバー変更	神戸 青 → 釧路 青	
		実験終了後	ナンバー変更	釧路 青 → 神戸 青
無償	ダック社の事業協力により実施（ダック社への対価支払いに「運行費（人件費）」や「車両借上費」を支出しない）。	ナンバー変更	神戸 青 → 神戸 白	
		実験終了後	ナンバー変更	神戸 白 → 神戸 青 車検が必要

表－13 ケース別手続き・許可の整理・検討 海上

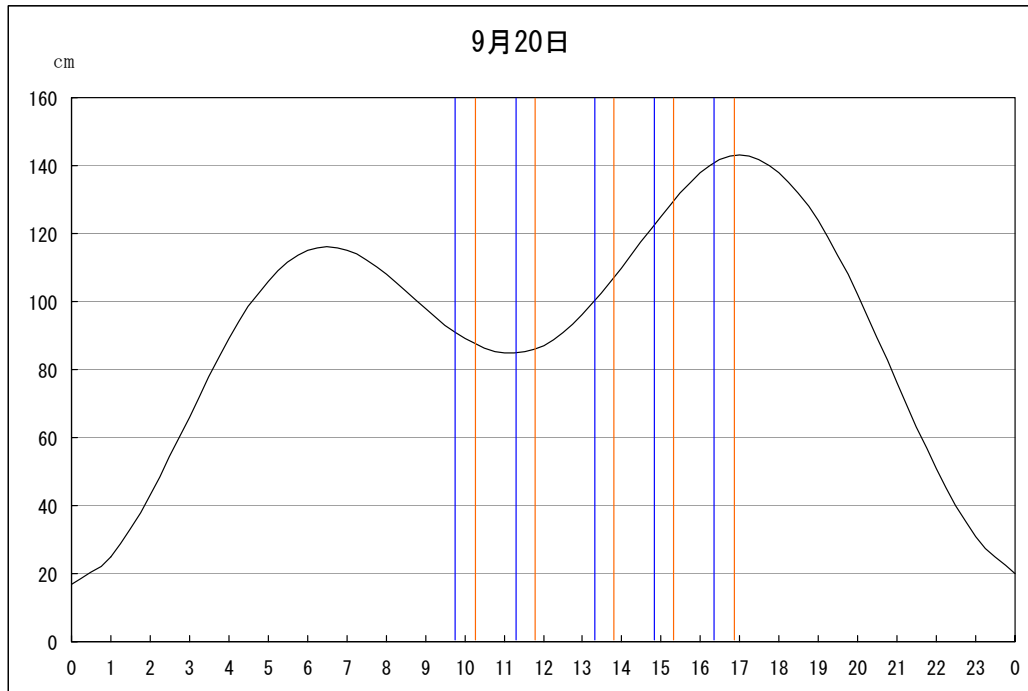
区分	届出・許可申請等		期限、その他備考	
共通	使用船舶の臨時検査	航行区域変更等の船舶の臨時検査（船舶安全法第5条第3項）	使用船舶の船舶検査証書に航行条件として航行区域又は従業制限がある場合	
	事前協議	運行区域の設定、届出・許可書類の事前確認	なるべく早く（運航区域は地元の運輸支局、届出・許可書類の事前確認は申請先）	
3日以内	届出	人の運送をする内航不定期航路事業開始届出申請	運航開始30日前まで	
		必要書類	人の運送をする内航不定期航路事業開始届出書 使用船舶明細書、航路図、船舶検査証書、船客障害賠償保険証券写、安全管理規定に関するもの	
	届出	「安全管理規定」の届出	開始届けと一緒に	
	届出	「安全統括管理者」及び「運行管理者」の選任届出	運航開始前まで	
有償の場合	公示	「運送約款」及び「運賃・料金」の公示	運航開始時まで（公示するだけなので手続き不要）	
4日以上	許可申請	旅客不定期航路事業許可の申請	運航開始2ヶ月前まで	
		必要書類	旅客不定期航路事業許可の申請書 事業計画（航路図、使用旅客船の明細、係留・水域・陸上及び輸送施設の概要） 許可基準への適合説明 施設 安全確保 適切な計画（船客障害賠償責任保険） 能力（定款、登記簿謄本、決算関係書類等、宣誓書、施設の使用承諾） 交通安全	
		届出	「安全管理規定」の変更の届出	運航開始前まで
	届出	「安全統括管理者」及び「運行管理者」の選任届出	運航開始前まで	
	有償の場合	届出	旅客不定期航路事業の運賃及び料金設定届	運航開始前まで
	有償の場合 かつ標準運送約款を使用できない場合	認可申請	運送約款設定認可申請	運航開始30日前まで（標準運送約款であれば手続き不要）
	申請にあたって必要となる主な手続き等	許可後	船客待合所・駐車場の手配	
登録免許税				
海事代理士費用				
	許可後	運航労務監理官による安全確認検査	運航開始前まで	

【釧路港潮位】

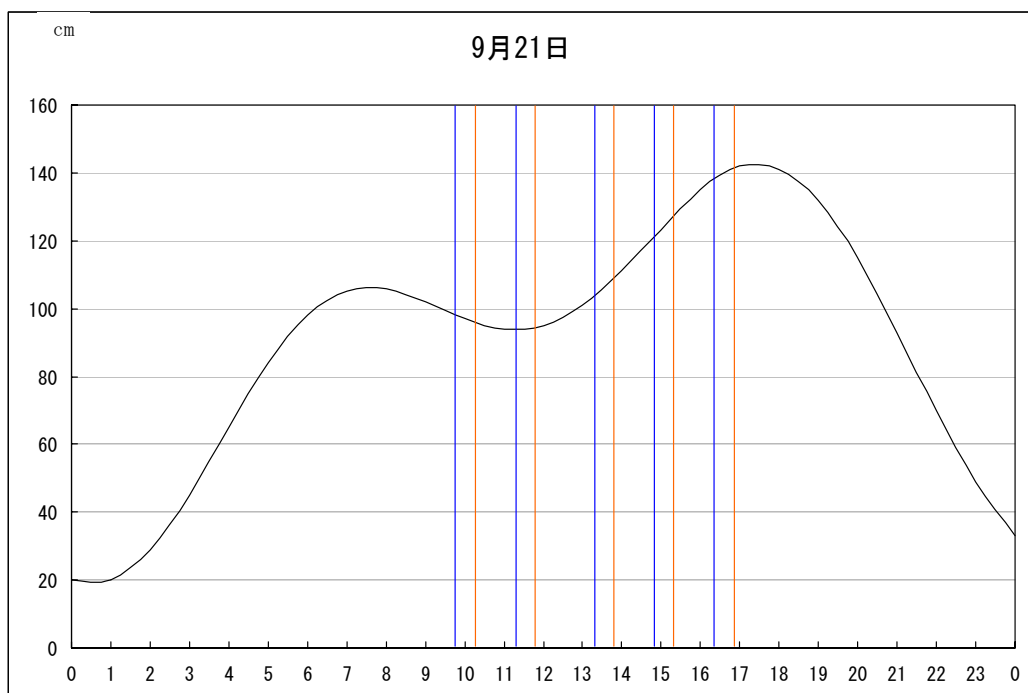
実証運行期間中の釧路港潮位

(気象庁HP、釧路市港町潮位表基準面潮位(2008年)から作成)

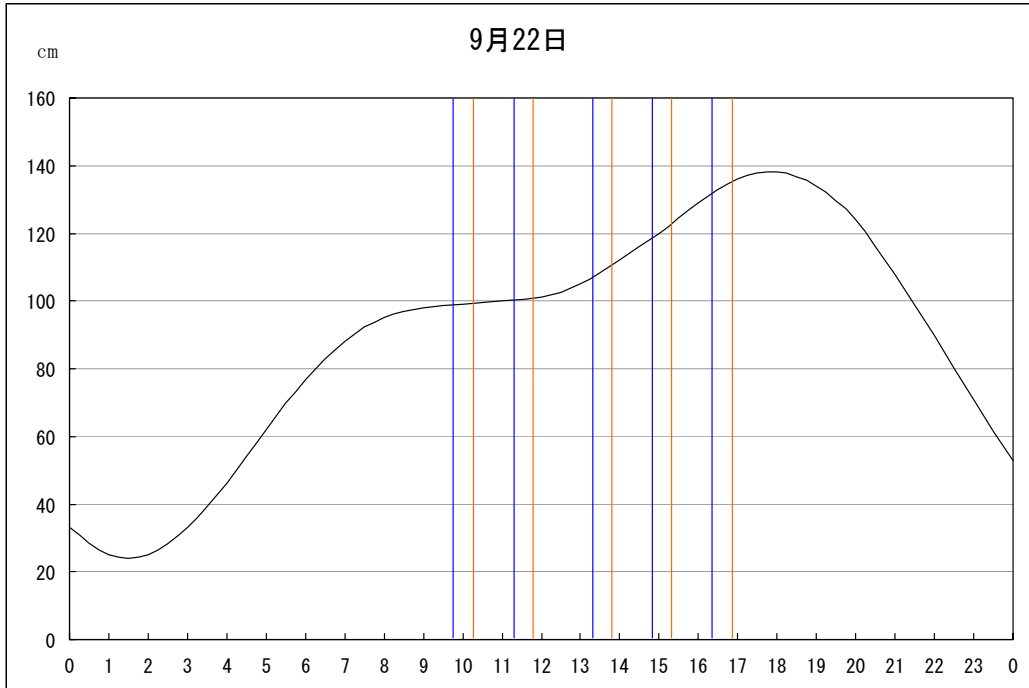
9月20日(土) 実証運行 1日目



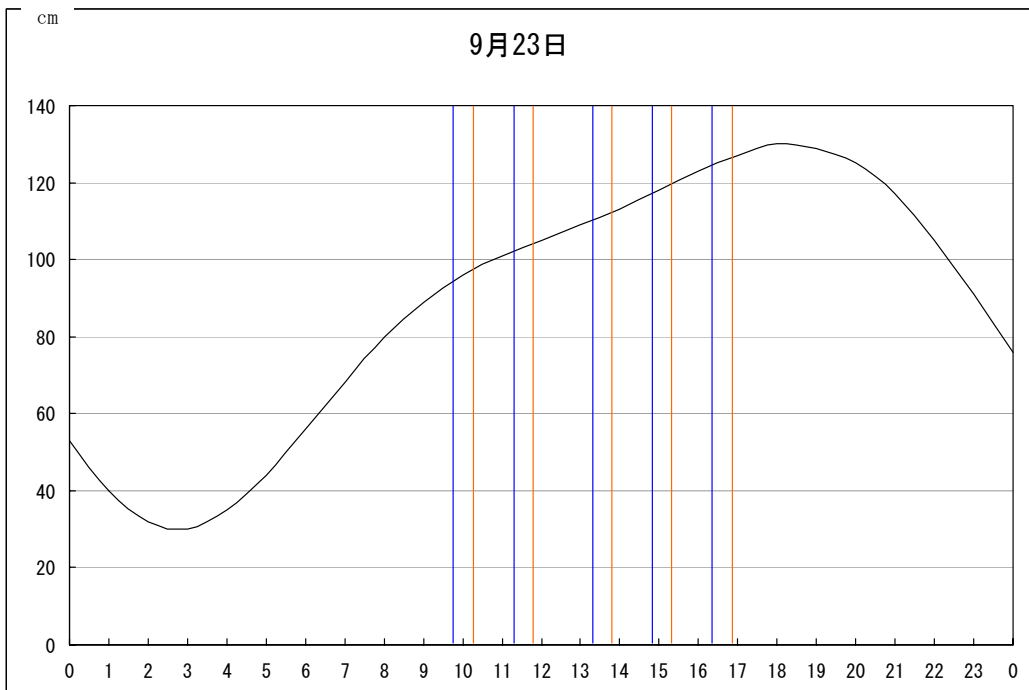
9月21日(日) 実証運行 2日目



9月22日(月) 運行予備日



9月23日(火・祝) 実証運行3日目



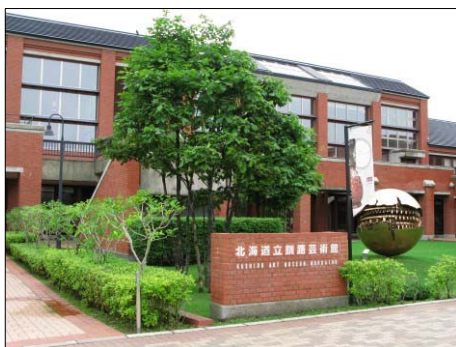
【ルート案内】

～港町釧路の歴史と文化を辿る～

①フィッシャーマンズ・ワーフ MOO EGG前



②釧路市観光国際交流センター・北海道立釧路芸術館



③釧路倉庫・浪花町十六番倉庫



④合同庁舎・子ども遊学館



⑤幸町公園



⑥和商市場・釧路駅



⑦北大通・幣舞橋



⑧港文館



⑨南大通



⑩船入溜



⑪米町界隈



⑫ふくしま医院（毛綱毅曠設計）



⑬生涯学習センターまなぼっと・富士見坂



【アンケート票】

	調査員記入 日 第 便乗車															
<h3>水陸両用車 乗車モニター アンケート調査票</h3>																
1. 今回の乗車モニター応募について																
Q 1 今回の乗車モニター募集には何人で応募されましたか？（ひとつに○）																
1. 一人で応募した 2. 二人で応募した 3. 三人で応募した 4. 四人で応募した 5. 関係者等として乗車 6. その他（ ）																
Q 1-1 「 二人もしくは三人、四人で応募された方 」にお伺いします。今回はどのような方と一緒されましたか。																
1. 友人や知人と 2. 家族で（夫婦二人） 3. 家族で（小さな子供連れ） 4. 家族で（成年した子と親） 5. 家族で（その他） 6. その他（ ）																
Q 2 あなたの性別、年齢、お住まいについてお知らせください。（道内の方は市町村名を、道外の方は都府県名をご記入下さい）																
	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%; text-align: center;">性別</td> <td style="width: 20%; text-align: center;">男</td> <td style="width: 20%; text-align: center;">女</td> <td style="width: 20%; text-align: center;">年 齢</td> <td style="width: 20%; text-align: center;">歳</td> </tr> <tr> <td style="border: none;">お住まい</td> <td colspan="4" style="border: none;">1. 北海道内（ ）市 町 村</td> </tr> <tr> <td style="border: none;"></td> <td colspan="4" style="border: none;">2. 北海道外（ ）都 府 県</td> </tr> </table>	性別	男	女	年 齢	歳	お住まい	1. 北海道内（ ）市 町 村					2. 北海道外（ ）都 府 県			
性別	男	女	年 齢	歳												
お住まい	1. 北海道内（ ）市 町 村															
	2. 北海道外（ ）都 府 県															
2. 今回のコースについて																
Q 3 『フィッシャーマンズワーフを出発してから進水するまで』の陸上コースについてお伺いします。																
Q 3-1 運行時間について、どう感じましたか。（ひとつに○）																
1. 長く感じた 2. 丁度よいと感じた 3. 短く感じた																
Q 3-2 運行コースの魅力はどうでしたか？（いくつでも）																
1. いろいろな施設や史跡などがあって良かった 2. 車窓から見える街の眺めが良かった 3. 特に見るべきものも無く、あまり良くなかった 4. つまらなかった 5. その他（自由にご記入下さい）																

Q 4 『海上運航コース』についてお伺いします。

Q 4-1 運航時間について、どう感じましたか。(ひとつに○)

1. 長く感じた 2. 丁度よいと感じた 3. 短く感じた

Q 4-2 海上運航コースの魅力はどうでしたか？(いくつでも)

1. 海上から見る釧路の街の眺めが新鮮で良かった
2. 港の景色を楽しめて良かった
3. 特に見るべきものも無く、あまり良くなかった
4. つまらなかった
5. その他(自由にご記入下さい)

Q 5 『上陸してからフィッシャーマンズワーフに戻るまで』の陸上コースについてお伺いします。

Q 5-1 運行時間について、どう感じましたか。(ひとつに○)

1. 長く感じた 2. 丁度よいと感じた 3. 短く感じた

Q 5-2 運行コースの魅力はどうでしたか？(いくつでも)

1. いろいろな施設や史跡などがあって良かった
2. 車窓から見える街の眺めが良かった
3. 特に見るべきものも無く、あまり良くなかった
4. つまらなかった
5. その他(自由にご記入下さい)

Q 6 陸上・海上含めた全体の運行時間について、どう感じましたか。(ひとつに○)

1. 長く感じた 2. 丁度よいと感じた 3. 短く感じた

Q 7 今回のコース以外でルートに入れて欲しい場所や施設、コースの改善に向けたご意見をご記入下さい。

コースに入れて欲しい場所や施設など

改善意見

3. ガイドについて

Q 8 今回の実証運行では、「釧路観光ガイドの会」や地元バス会社の協力によりガイドを実施しました。ガイドについてどう感じましたか？（ひとつに○）またその感想をご記入下さい。

- | |
|-----------------------------|
| 1. 釧路に関するいろいろな話が聞けて良かった |
| 2. あまり興味のある話ではなかった（面白くなかった） |
| 3. ガイドは特に必要ないと思った |
- 感想（良かった点、悪かった点などご自由にご記入下さい）

4. 今回の水陸両用車の運行について

Q 9 今回の水陸両用車の乗車体験について、どのような点が良かったり楽しかったと感じられましたか。（いくつでも）

- | |
|-------------------------------------|
| 1. いろいろな施設や史跡などの場所がわかり市街地観光のガイドとなった |
| 2. 車窓から見える街の眺めが良かった |
| 3. ガイドのおかげで釧路市の知らない面を知ることができて良かった |
| 4. 海上から見る釧路の街の眺めが新鮮で良かった |
| 5. 進水や上陸の瞬間が楽しかった |
| 6. このような珍しい乗り物に乗れたこと自体が楽しかった |
7. その他（自由にご記入下さい）

Q 10 今回の水陸両用車の乗車体験は満足できましたか。（ひとつに○）

- | | | | | |
|---------|-------|------------|-------|---------|
| 1. 大変満足 | 2. 満足 | 3. どちらでもない | 4. 不満 | 5. 大変不満 |
|---------|-------|------------|-------|---------|

Q 11 水陸両用車は、港や川など水辺が多い釧路市にふさわしい乗り物だと思いますか？

- | | | |
|---------|------------|------------|
| 1. そう思う | 2. そうは思わない | 3. どちらでもない |
|---------|------------|------------|

Q 12 今回の運行で印象に残った施設や場所、改めて訪ねてみたい施設や場所がありましたら、ご記入下さい。

--

Q 13 水陸両用車に乗車する前の本日の行動及びこれからの予定を教えてください。

乗車前	1. 市内で買物	2. 市内で飲食	3. 市内観光	4. 特になし
	5. 自宅(ホテルなど)から直接来た	6. その他 (具体的に)		
乗車後	1. 市内で買物	2. 市内で飲食	3. 市内観光	4. 特になし
	5. 自宅(ホテルなど)へ直接帰る	6. その他 (具体的に)		

「地元（釧路・道東地域にお住まいの方）」の方にお伺いします。

Q14 仮に釧路で継続的に水陸両用車が運行された場合、道外や札幌などから友人・知人が来たら、「一緒に乗って案内する」あるいは「乗車を勧める」と思いますか。

- | | |
|-------------------|-----------------------|
| 1. 一緒に乗って案内したいと思う | 2. 一緒には乗らないが乗車を勧めると思う |
| 3. 勧めたりはしないと思う | 4. わからない |

「地元以外」の方にお伺いします。

Q15 仮に釧路で継続的に水陸両用車が運行された場合、北海道へ旅行される友人や知人に、釧路での水陸両用車の乗車をお勧めすると思いますか。またその理由についてご記入下さい。

- | | |
|---------------------|-------------------------|
| 1. 絶対乗った方がいいと勧めると思う | 2. 都合がつけば乗った方がいいと勧めると思う |
| 3. 勧めたりはしないと思う | 4. わからない |

Q16 北海道を旅行している途中で「釧路で水陸両用車が運行している」という情報を知った場合、旅行の予定を変更しても乗ってみたいと思いますか。（ひとつに○）

- | |
|-------------------------|
| 1. 予定を変更しても乗ってみたいと思う |
| 2. 予定変更してまでは乗ってみたいと思わない |
| 3. 乗ってみたいとは思わない |

4. 水陸両用車の乗車料金について

Q17 今回の水陸両用車は実験として「料金無料」で運行しましたが、今後本格的に運行するためには有料運行とすることが必要です。今回の水陸両用車の乗車料金として、あなたが妥当と考える料金をご記入下さい。

円

Q18 地元の方であれば「年に数回乗ってもいい」、地元以外の方であれば「釧路に来るたび乗ってもいい」と思える料金はどれに近いですか。（ひとつに○）

- | | |
|-------------|--------------------|
| 1. 5,000円以上 | 6. 2,500円 |
| 2. 4,500円 | 7. 2,000円 |
| 3. 4,000円 | 8. 1,500円 |
| 4. 3,500円 | 9. 1,000円以下 |
| 5. 3,000円 | 10. また乗ってみたいとは思わない |

以上でアンケートは終了です。ご協力ありがとうございました。

乗車モニターアンケート調査票4

御社名をご記入下さい

水陸両用車 地元関係者様 アンケート調査票（案）

1. 実証実験期間中（9月20日～9月23日）の来客数や売上げなどについて、水陸両用車の効果がありましたでしょうか？（数値などで示せる場合は、差し支えない範囲でご記入をお願いいたします）

2. 水陸両用車が営業運行した場合、市街地の活性化や観光客の増加などに寄与すると考えられますでしょうか？

3. 水陸両用車が生活交通（鉄道・バス・タクシーなど）の一部として成り立つと考えられますでしょうか？また、導入に際し必要と考えられる事柄はありますか？

以上でアンケートは終了です。ご協力ありがとうございました。

地元関係者アンケート調査票

【実証運行準備】

1) 仮設斜路の設計

入水・上陸地点となる釧路市船入澗においては、漁船の揚げ降ろしに使用するための斜路が設置されているが、水際線を越えたところですぐに段差を持つ構造となっており、この既設斜路を活用して水陸両用車の揚げ降ろしをするには、水中部に斜路を延長して、車輪が支障なく接地できるように改良することが必要である。

このため、実証運行に先立って、仮設斜路の設計・施工を行った。

設計にあたっては、設計対象地の与条件を基に複数の構造を検討し、概算工事費の比較を行った。また、工事箇所に設置されている照明施設や漁業関係者の施設の設置状況を勘案すると、大型クレーンによる施工が不可能なため、施工方法としてはバックホウで施工可能な工法の採用となるため、前述の工事費に加え、以上の施工状況を加味し、ケース1-3-1を採用することとした。

なお、工事箇所の既設斜路には漁船のラバー製滑り止めが設置されており、漁業組合との協議により、滑り止めを保護するために敷鉄板を敷設することとした。

ケース1-3-1（左寄せ）：海に向かって左側の袖護岸に寄せる。袖護岸側からの作業とし、作業足場は敷き鉄板程度とする。作業機械は陸上機械を用いる。

概算工事費比較表

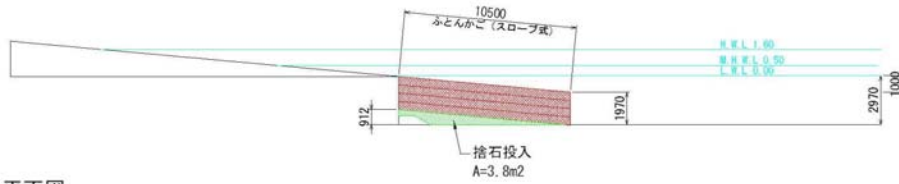
項目	ケース1-2-1	ケース1-3-1	ケース1-4-1	ケース1-5-1	ケース1-5-2	
工法	フトンかご	フトンかご(左寄せ)	石かご	Conブロック	Conブロック(本設)	
略図	平面図					
	側面図					
	断面図					
概算工事費	設置費	4,868,000	4,348,800	2,781,700	3,146,700	3,017,483
	撤去費	1,539,900	1,179,100	366,200	372,700	993,530
	直接工事費	6,407,900	5,527,900	3,147,900	3,519,400	4,011,013
	経費	3,374,100	2,928,100	1,685,100	1,884,600	2,142,987
	工事費	9,782,000	8,456,000	4,833,000	5,404,000	6,154,000

側面図

概算数量算出図

S=1:250

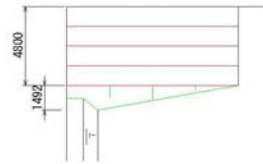
ケース 1-3-1(左寄せ)



平面図



袖護岸



概算数量

基礎捨石

測点	距離	断面積	平均断面	体積
0.00		0.00		0.00
4.80	4.80	3.80	3.80	18.24
6.30	1.50	3.80	1.90	2.85
合計				21.09

基礎捨石均し面積

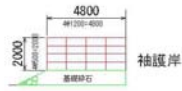
法面部は断面積に斜比を掛けて算出する。

3.8×2.236 (1:2.0の斜比)=8.5

平面部 $4.8 \times 10.5 = 50.4$

合計58.9m²

断面図

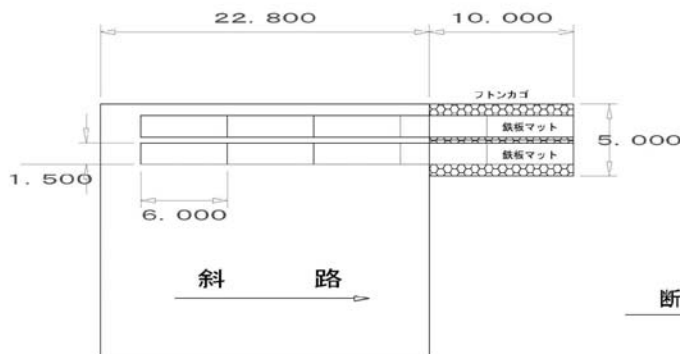


フトンかご (スロープ式)

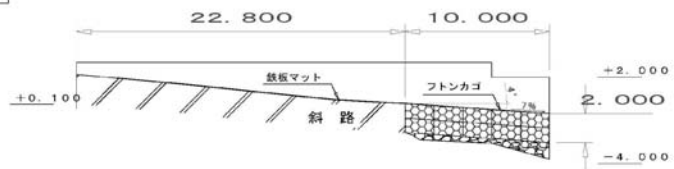
1段当り $4.8 \times 10.5 = 50.4$

4段積なので $50.4 \times 4 = 201.6$ m²

平面図



断面図





工事箇所現況施設配置状況

2) 工事実施に係わる諸手続き

工事に係る諸手続きとしては、釧路海上保安部および港湾管理者である釧路市港湾空港部の届出と、工事箇所の利用者である東部漁業協同組合に対する工事説明会が必要であり、それぞれ次に示す書類を作成し、各機関との協議を行った。

①釧路海上保安部への作業申請および完了届

平成20年8月14日

港 内 作 業 許 可 申 請 書

釧 路 港 長 殿

申請者 札幌市〇〇区〇〇〇〇
 株式会社 〇〇〇〇
 代表取締役社長 〇〇〇〇
 現場代理人 〇〇〇〇

1. 目的及び種類	水陸両用車運行ルート暫定整備のための 仮設斜路設置および撤去工事
2. 期間及び時間	調査期間： 自 平成20年 08月21日 至 平成20年 09月30日 荒天待機含む (実働日数：設置7～8日、撤去3～4日) 時 間： 日の出から日没まで
3. 作 業 区 域	釧路東港内：港町船入潤付近 (別紙-1参照)
4. 作 業 方 法	クレーンを一台使用し、下記の作業(工事)を行います。 ふとんかご設置および撤去 (別紙-2参照)
5. そ の 他	作業工程表 (別紙-3参照) 安全対策 (別紙-4参照) 緊急連絡系統図 (別紙-5参照) 安全管理組織図 (別紙-6参照)
6. 連 絡 先	施工期間連絡先：株式会社 〇〇〇〇 〇〇部 〇〇〇〇 TEL ***-***-**** 現場作業責任者：〇〇〇〇 昼間連絡先：携帯電話 TEL ***-***-**** 夜間連絡先：同 上 TEL 同 上

(別紙-1・3・5・6 は省略)

別紙-2
作業方法

1. 仮設斜路設置工事

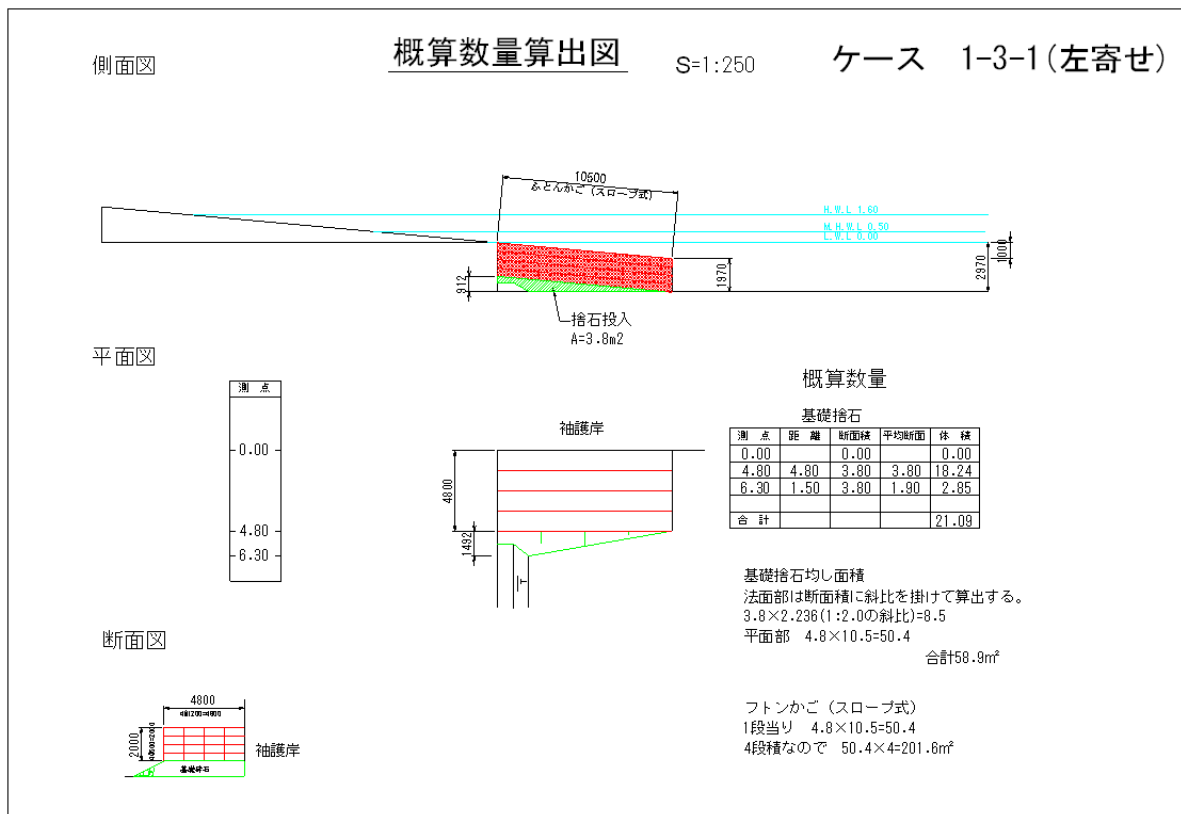
1. ふとんかご設置

国土交通省運輸局の実施する水陸両用車の実証実験の実施に伴い、釧路東港港町の船入澗に水陸両用車の入水・上陸ルートを確認するため、別紙-1に示す範囲内でクレーンを使用し、ふとんかごの設置による仮設斜路設置工事を8月21日から9月3日の間に行います。仮設斜路は斜長10.5m、幅員4.8m程度とし、工事は7日程度で完了致します。

2. 仮設斜路撤去工事

1. ふとんかご撤去

国土交通省運輸局の実施する水陸両用車の実証実験が9月23日に終了後、速やかに設置したふとんかごを撤去する仮設斜路撤去工事を9月24日から9月30日の間に行います。工事は3日程度で完了致します。



別紙-4 安全対策

1. 港則法、海上衝突予防法等関係する法令を遵守します。
2. 海上作業現場には作業許可書を携行し、作業員には、作業用救命胴衣を着用させ、かつ安全対策について周知徹底します。
3. 作業時に、航行船舶が接近した際には注意喚起をし、濃霧時、及び夜間時には作業を実施しません。又、潜水作業は実施いたしません。
4. 気象通報、特に注意報等の発令に留意し、原則として次の場合には作業を中止するとともにこれ以下であっても、状況に応じ作業を中止します。
 - ・ 風速7m/秒以上の場合
 - ・ 波浪、波高が1m以上の場合
 - ・ 視程が約 500m以下の場合
5. 作業中に事故、その他異常事態が発生、または発見した場合には直ちに作業を中止し速やかに海上保安部に連絡するとともに別添（別紙-5）の緊急連絡系統図をもとに関係機関に連絡いたします。
6. 係留船舶を適宜見回りいたします。
7. 作業終了後は速やかに海上保安部に完了届を提出いたします。
8. 工事の実施にあたり、管理者の釧路市港湾空港部および使用者の釧路市東部漁業協同組合に事前説明を実施し、工事内容について了承を得ています。

平成20年9月30日

港内作業完了届

釧路港長 殿

申請者 札幌市〇〇区〇〇〇〇
株式会社 〇〇〇〇
代表取締役社長 〇〇〇〇
現場代理人 〇〇〇〇

申請をしておりました以下の作業につきまして、期間内に無事完了したことを報告します。

1. 目的及び種類	水陸両用車運行ルート暫定整備のための 仮設斜路設置および撤去工事
2. 期間及び時間	調査期間： 自 平成20年 08月21日 至 平成20年 09月30日 荒天待機含む (実働日数：設置7～8日、撤去3～4日) 時 間： 日の出から日没まで
3. 作業区域	釧路東港内：港町船入潤付近
4. 作業方法	クレーンを一台使用した、下記の作業（工事）。 ふとんかご設置および撤去
5. 連絡先	施工期間連絡先：株式会社 〇〇〇〇 〇〇部 〇〇〇〇 TEL ***-***-**** 現場作業責任者：〇〇〇〇 昼間連絡先：携帯電話 TEL ***-****-**** 夜間連絡先：同 上 TEL 同 上

②釧路市港湾空港部への行為の許可申請 《添付資料は省略》

行為の許可申請書
(工事・行事)

行為の場所	釧路市港町船入澗付近
行為の目的	水陸両用車運行ルート暫定整備のための仮設斜路設置および撤去工事
行為の期間	平成20年 8月26日 から 平成20年 9月30日 まで 36日間
添付資料	工事： ■位置図 ■平面図 ■構造図 ■工程表 行事： □位置図 □会場図 □実施要領
備考	<p>釧路市の管理する港湾の港湾区域内において、上記のとおり行為をいたしたいので申請いたします。</p> <p>なお、行為実施にあたっては、許可条件を遵守いたします。</p> <p>平成20年 8月18日 釧路市長 ○ ○ ○ ○</p> <p style="text-align: right;">住所：札幌市○○区○○○○ 株式会社 ○○○○ 申請者 氏名：代表取締役社長 ○○○○ 印 担当者名・電話：○○○○ ・***-***-***</p>

※申請者は、上記枠内のみご記入下さい。

上記のとおり申請があったので、別添許可書案のとおり許可いたしたい。

平成 年 月 日 起案	取扱方法	起案者の職・氏名・印
平成 年 月 日 決裁	釧路空行許可	港湾空港部 港湾空港振興課 港湾空港担当
平成 年 月 日 施行	第 号	印

決裁区分	部長	次長	主幹	課長補佐	専門員	主査	係
丙							
丁							

<特記事項>

.....

.....

.....

平成20年8月20日

港内作業への協力お願い

釧路港利用者関係各位

札幌市〇〇区〇〇〇〇
 株式会社 〇〇〇〇
 代表取締役社長 〇〇〇〇
 現場代理人 〇〇〇〇

この度、下記目的で8月26日以降、港内作業（仮設斜路の設置および撤去）を実施いたします。

作業の実施にあたりましては、釧路海上保安部に港内作業許可申請を提出（現在承認中）し、承認後皆さまに作業日を再度周知した上で、実施する予定でございます。

作業実施に伴い、極力ご迷惑をかけないよう配慮いたしますので、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

1. 目的及び種類	水陸両用車運行ルート暫定整備のための仮設斜路設置 および撤去工事
2. 期間及び時間	調査期間： 自 平成20年 08月26日 至 平成20年 09月30日 荒天待機含む (実働日数：設置7～8日、撤去3～4日) 時 間： 日の出から日没まで
3. 作業区域	釧路東港内：港町船入潤付近 (別紙-1参照)
4. 作業方法	クレーンを一台使用し、下記の作業（工事）を行います。 ふとんかご設置および撤去 (別紙-2参照)
5. 連絡先	施工期間連絡先：株式会社 〇〇〇〇 〇〇〇〇部 〇〇〇〇 TEL ***-***-**** 現場作業責任者：〇〇〇〇 昼間連絡先：携帯電話 TEL ***-****-**** 夜間連絡先：同 上 TEL 同 上

3) 仮設斜路の設置

平成20年8月26日から8月30日の期間、入水・上陸地点である釧路市港町船入澗で仮設斜路設置工事を実施した。



No. _____

フトンカゴ
設置状況



No. _____

フトンカゴ
設置状況



No. _____

フトンカゴ
設置状況



No. _____

鉄板マット敷設完了
(海中部)



No. _____

鉄板マット敷設完了
(斜路部)

No. _____

4) 運行に関する手続き

運行に係わる手続きとしては、釧路海上保安部および港湾管理者である釧路市港湾空港部への届出が必要であり、それぞれ次に示す書類を作成し、各機関との協議を行った。

①釧路海上保安部への行事許可申請

平成20年8月 日

港 内 行 事 許 可 申 請 書

釧 路 港 長 殿

申請者 東京都〇〇区〇〇〇〇
 財団法人 〇〇〇〇機構
 会長 〇〇〇〇
 現場代理人 〇〇〇〇

1. 目的及び種類	水陸両用車実証実験のための港内航行
2. 期間及び時間	調査期間： 自 平成20年 09月16日 至 平成20年 09月23日テスト運行含む (実働日数：8日) 時 間： 9：00から17：30まで
3. 航 行 区 域	釧路東港内：港町船入潤付近 (別紙-1参照)
4. 行 事 内 容	水陸両用車を使用し、下記の行事(実験)を行います。 水陸両用車による港内航行 (別紙-2参照)
5. そ の 他	行事工程表 (別紙-3参照) 安全対策 (別紙-4参照) 緊急連絡系統図 (別紙-5参照) 安全管理組織図 (別紙-6参照)
6. 連 絡 先	実験実施期間連絡先：財団法人 〇〇〇〇機構 〇〇〇室 〇〇〇〇 TEL **-****-**** 携帯電話 ***-****- **** 現場責任者：〇〇〇〇 昼間連絡先：携帯電話 TEL ***-****-**** 夜間連絡先：同 上 TEL 同 上

(別紙-1・3・5・6 は省略)

1. 水陸両用車による港内航行

国土交通省運輸局の実施する水陸両用車の実証実験の実施に伴い、釧路東港港町の船入澗から水陸両用車にて入水して、別紙-1に示す範囲内で航行し、再び港町船入澗から上陸します。テスト運行を9月16日から9月19日の間に行い、実証実験を9月20,21,23日の3日間実施します。



平成20年9月20日(土) 21日(日) 23日(火・祝)

水陸両用車が釧路にやって来る！ 120人

乗車モニター募集！

釧路市中心部で水陸両用車を実験的に運行！
体験乗車されるモニターを募集します。

詳しくは裏面の
応募要領を
ご覧ください！

平成20年9月20・21・23日の3日間、北海道釧路市において水陸両用車の実証運行を行います。

この実証運行は、「水陸両用車」というインパクトが大きく注目度の高い車両を活用することで、釧路市中心市街地の活性化や観光の魅力・周遊性の向上、公共交通の活性化を図ることを目的に、今年度は実験として運行を行うものです。

水陸両用車 実証運行のお知らせ

- ◆ 運行日：平成20年9月20日(土)、21日(日)、23日(火・祝日)
- ◆ 運行便数：1日あたり3～5便(1便の乗車定員は20人です。)
- ◆ 所要時間：約70分、うち海上運航約30分
- ◆ 料金：無料
- ◆ 募集人員：120人

注意事項

乗車の条件として、モニターの方には乗車後10分程度、今後の運行に向けたアンケート調査にご協力いただきます。

なお、強風や高波、悪天候その他の理由で、海上への進入や陸上を含む運行全体を取りやめる場合があります。また、今回の運行で使用いたします車両はバリアフリー対応とはなっており、車いすでの乗車はできませんので、予めご了承願います。

別紙-4 安全対策

1. 港則法、海上衝突予防法等関係する法令を遵守します。
2. 港内を航行する水陸両用車には行事許可書を携行し、乗員・乗客には、救命胴衣を着用させ、かつ安全対策について周知徹底します。
3. 作業時に、航行船舶が接近した際には注意喚起をし、濃霧時、及び夜間時には作業を実施しません。又、潜水作業は実施いたしません。

安全管理規程に基づき、気象・海象について、本船がMOO駐車場を出発する各1時間前にはインターネット・メディア等より情報を収集し、確認を行い、且つ釧路港内の全体が見渡せる位置より波高・風速・潮位・視界の確認を行います。なお、次に掲げる気象・海象の条件を達していると認める時は、離着水を中止いたします。

港名	風速	波高	視界	着水離水
釧路港内	8m/s以上	30cm以上	300m	スロープの異常確認

また、陸上作業員が待機中に中止条件に達し、またはその恐れがあると認める時は速やかに安全統括管理者兼運航管理者に連絡をし、陸上作業員より連絡を受けた安全統括管理者兼運航管理者は、離着水を中止する場合は速やかに船長または船内作業員に連絡をし、適切な処置をするものとします。

上記のほか、船長は離着水が困難であると認める時は速やかに入水を中止するものとします。

なお、安全統括管理者兼運航管理者及び船長は、運航の可否判断、運航中止の処置及び協議の内容を記録するものとします。

4. 行事中に事故、その他異常事態が発生、または発見した場合には直ちに行事を中止し速やかに海上保安部に連絡するとともに別添（別紙-5）の緊急連絡系統図をもとに関係機関に連絡いたします。
5. 係留船舶を適宜見回りいたします。
6. 行事終了後は速やかに海上保安部に完了届を提出いたします。
7. 実験の実施にあたり、管理者の釧路市港湾空港部および使用者の釧路市東部漁業協同組合に事前説明を実施し、行事内容について了承を得ています。

②釧路市港湾空港部への行為の許可申請 《添付書類は省略》

行為の許可申請書
(工事・行事)

行為の場所	釧路市港町船入澗付近
行為の目的	水陸両用車実証実験のための港内航行
行為の期間	平成20年 9月16日 から 平成20年 9月23日 まで 8日間
添付資料	工事： <input type="checkbox"/> 位置図 <input type="checkbox"/> 平面図 <input type="checkbox"/> 構造図 <input type="checkbox"/> 工程表 行事： <input checked="" type="checkbox"/> 位置図 <input checked="" type="checkbox"/> 会場図 <input checked="" type="checkbox"/> 実施要領
備考	<p>釧路市の管理する港湾の港湾区域内において、上記のとおり行為をいたしたいので申請いたします。</p> <p>なお、行為実施にあたっては、許可条件を遵守いたします。</p> <p>平成20年 9月 日 釧路市長 ○ ○ ○ ○</p> <p style="text-align: right;">住所：東京都○○区○○○○ 財団法人 ○○○○機構 申請者 氏名：会長 ○○○○ 印 担当者名・電話：○○○○ ・ **-****-****</p>

※申請者は、上記枠内のみご記入下さい。

上記のとおり申請があったので、別添許可書案のとおり許可いたしたい。

平成 年 月 日 起案	取扱方法	起案者の職・氏名・印
平成 年 月 日 決裁	釧路空行許可	港湾空港部 港湾空港振興課 港湾空港担当
平成 年 月 日 施行	第 号	印

決裁区分	部長	次長	主幹	課長補佐	専門員	主査	係
丙							
丁							

<特記事項>

【実証運行の実施状況】



【乗車モニター アンケート調査結果】

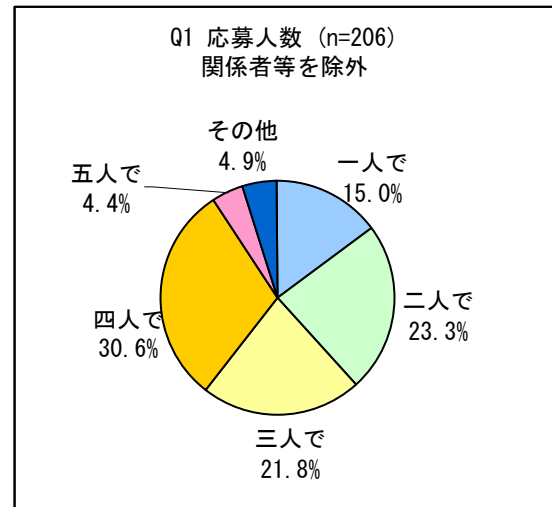
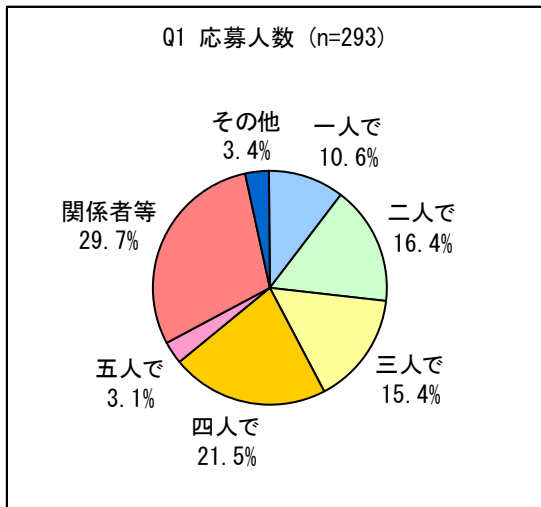
1) 乗車モニター属性

乗車モニターアンケートは、体験乗車された中学生以上の方に、降車後すぐにアンケート票を渡し、テーブル・椅子を設置したアンケート記入コーナーで記入して頂いた。

① 応募人数等

全体 (n=293) に占める構成比としては関係者等が多く29.7%となっている。

この関係者等を除外した一般公募された方 (n=206) の構成比でみると、四人で応募が最も多く30.6%、次いで二人の23.3%、三人の21.8%の順となっている。

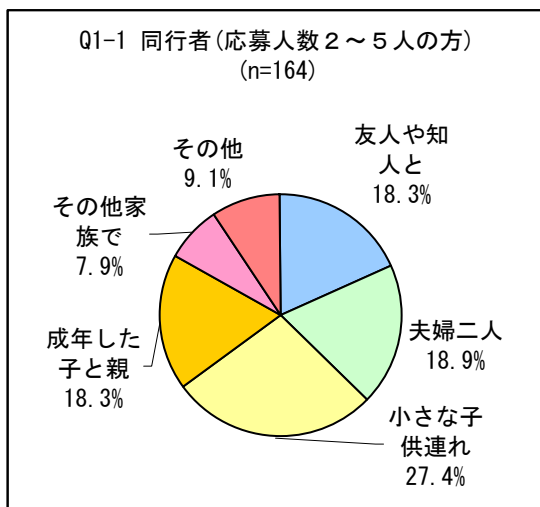


	回答数	構成比
一人で応募した	31	10.6%
二人で応募した	48	16.4%
三人で応募した	45	15.4%
四人で応募した	63	21.5%
五人で応募した	9	3.1%
関係者等として乗車	87	29.7%
その他	10	3.4%
合計	293	100.0%

関係者等を除く	回答数	構成比
一人で応募した	31	15.0%
二人で応募した	48	23.3%
三人で応募した	45	21.8%
四人で応募した	63	30.6%
五人で応募した	9	4.4%
その他	10	4.9%
合計	206	100.0%

②同行者（応募人数二人～五人の方）

複数人数での申込みをされた方の同行者をみると、小さな子供連れが最も多く27.4%、次いで夫婦二人、成年した子と親、友人や知人がほぼ同数の20%弱で並んでいる。



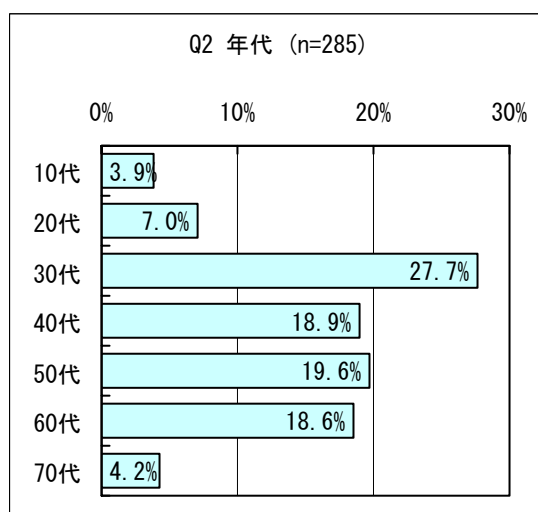
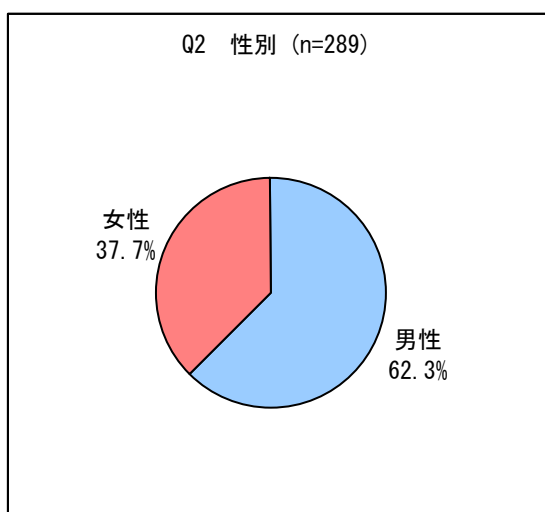
	二人で	三人で	四人で	五人で	合計	構成比
友人や知人と	6	14	10		30	18.3%
家族で（夫婦二人）	31				31	18.9%
家族で（小さな子供連れ）	3	15	25	2	45	27.4%
家族で（成年した子と親）	2	9	19		30	18.3%
家族で（その他）	2	2	4	5	13	7.9%
その他	3	5	5	2	15	9.1%
合計	47	45	63	9	164	100.0%
無回答	1				1	

※ 構成比算出の母数には無回答を含まない（以下同様）

③性別・年代・住まい

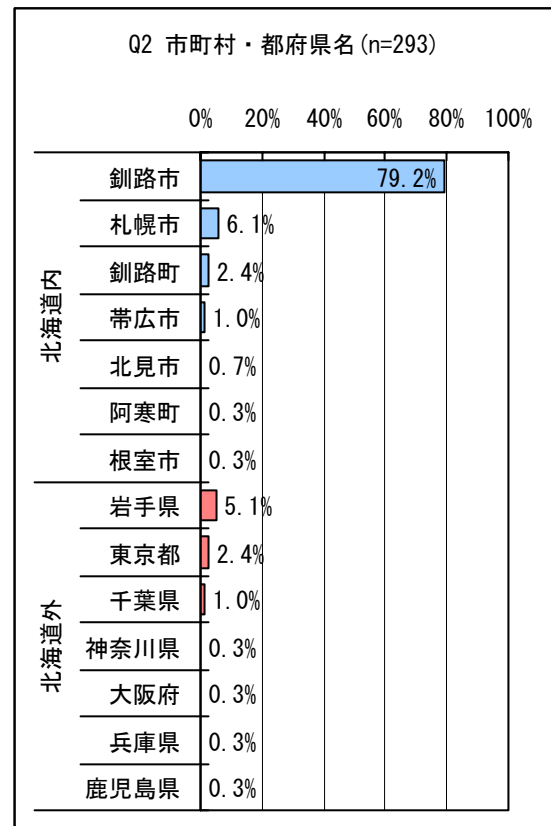
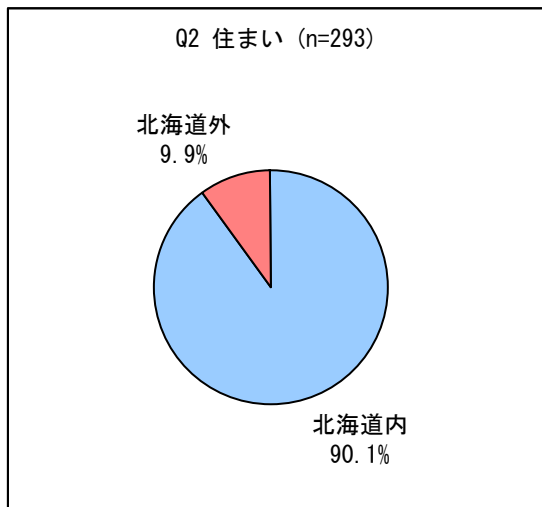
男性と女性の比率は約6:4で男性が多い。

年代は30代が最も多く27.7%、次いで50代、40代、60代がほぼ同数の20%弱で並んでいる。



住まいは、北海道内と北海道外の比率が約9:1で、大半が道内居住者であり、市町村別では、釧路市が最も多く79.2%、次いで札幌市の6.1%となっている。

道外では、今回期間中に寄港した飛鳥IIの乗客である岩手県が5.1%と多い。



	回答数	構成比
男性	180	62.3%
女性	109	37.7%
合計	289	100.0%
無回答	4	

	回答数	構成比
北海道内	264	90.1%
北海道外	29	9.9%
合計	293	100.0%

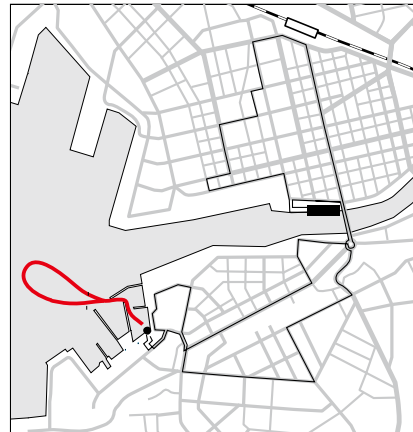
	回答数	構成比
10代	11	3.9%
20代	20	7.0%
30代	79	27.7%
40代	54	18.9%
50代	56	19.6%
60代	53	18.6%
70代	12	4.2%
合計	285	100.0%
無回答	8	

2) コースの評価

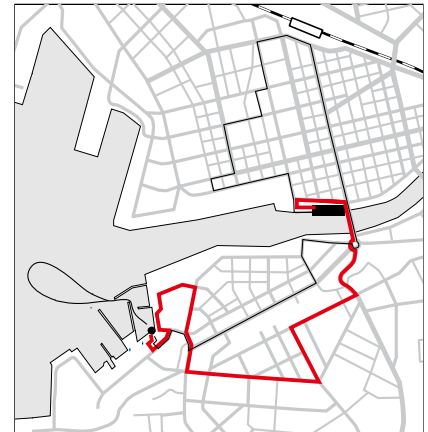
実験で運行（運航）したコースについて【①陸上往路】、【②海上コース】、【③陸上復路】の3つに分けて運行時間やコースの魅力を尋ねた。



【①陸上往路】



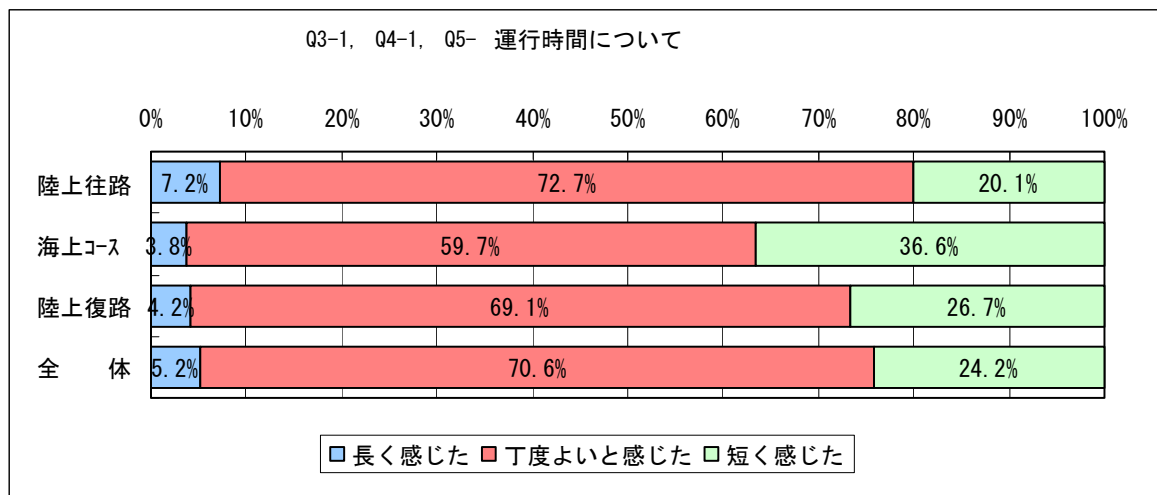
【②海上コース】



【③陸上復路】

①運行時間

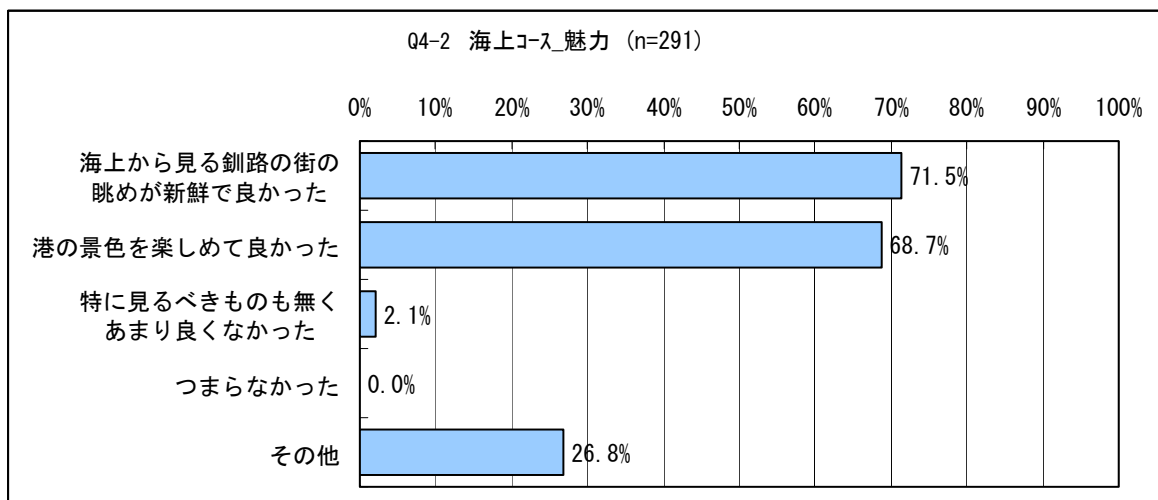
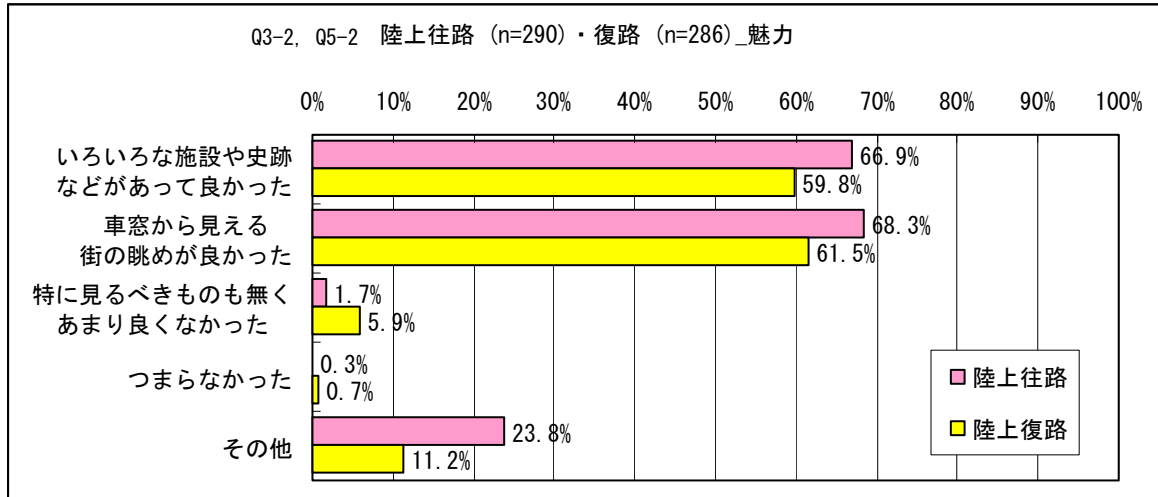
運行時間は、「丁度よいと感じた」がどのコースも多く、陸路及び全体としてはおおむね70%前後になっている。一方海上コースについては、60%弱と10ポイントほど陸路に比べて低くなっており、「長く感じた」が約37%と陸路等に比べると高く、海上については、もう少し長くいたいと感じた方が多かった。これは陸上の景色と比較すると、船からの景色や視点は新鮮であることに加え、普段体験できないことであることが大きいと考えられる。自由記入欄にも、もう少し海上にいたかったという意見が見られる。



②コースの魅力

陸上往路、海上コースについては、施設や史跡、景色などについて、「良かった」という回答がほぼ70%程度を占めている。

陸上復路については、「良かった」という回答が60%前後と、往路に比較すると10ポイント程度低くなっている。



		陸上往路	海上コース	陸上復路	コース全体
回答数	長く感じた	21	11	12	15
	丁度よいと感じた	213	173	199	204
	短く感じた	59	106	77	70
	合計	293	290	288	289
	無回答		3	5	4
構成比	長く感じた	7.2%	3.8%	4.2%	5.2%
	丁度よいと感じた	72.7%	59.7%	69.1%	70.6%
	短く感じた	20.1%	36.6%	26.7%	24.2%
	合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

	陸上往路		陸上復路	
	回答数	構成比	回答数	構成比
いろいろな施設や史跡などがあって良かった	194	66.9%	171	59.8%
車窓から見える街の眺めが良かった	198	68.3%	176	61.5%
特に見るべきものも無く、あまり良くなかった	5	1.7%	17	5.9%
つまらなかった	1	0.3%	2	0.7%
その他	69	23.8%	32	11.2%
回答者数	290	100.0%	286	100.0%
無回答	3		7	

	海上コース	
	回答数	構成比
海上から見る釧路の街の眺めが新鮮で良かった	208	71.5%
港の景色を楽しめて良かった	200	68.7%
特に見るべきものも無く、あまり良くなかった	6	2.1%
つまらなかった	0	0.0%
その他	78	26.8%
回答者数	291	100.0%
無回答	2	

③自由記入欄意見の分類・集約

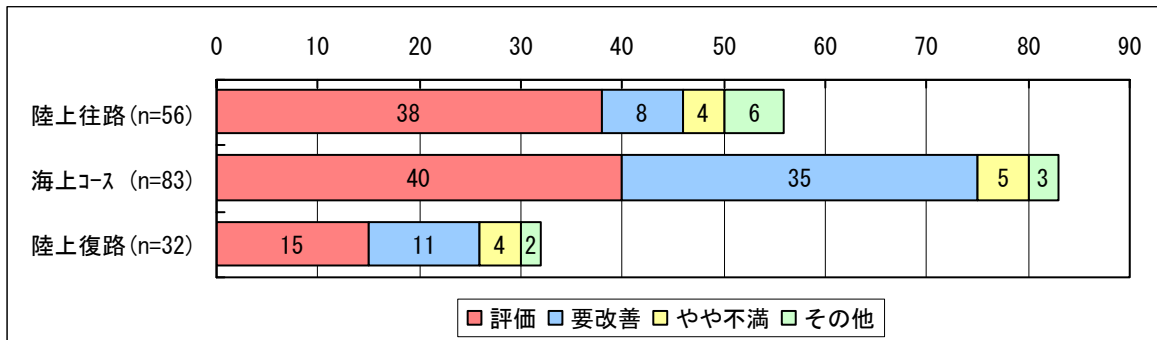
それぞれのコースの自由記入欄の意見について、内容に応じて大きく「評価（よかった・再認識・再発見等）」、「要改善（こうした方がいいのでは）」、「やや不満」、「その他」の4つに分類し、意見を集約、整理した。

意見数では、海上コースが最も多く83意見、次いで陸上往路の56意見となっており、海上コースに対する関心の高さが伺える。

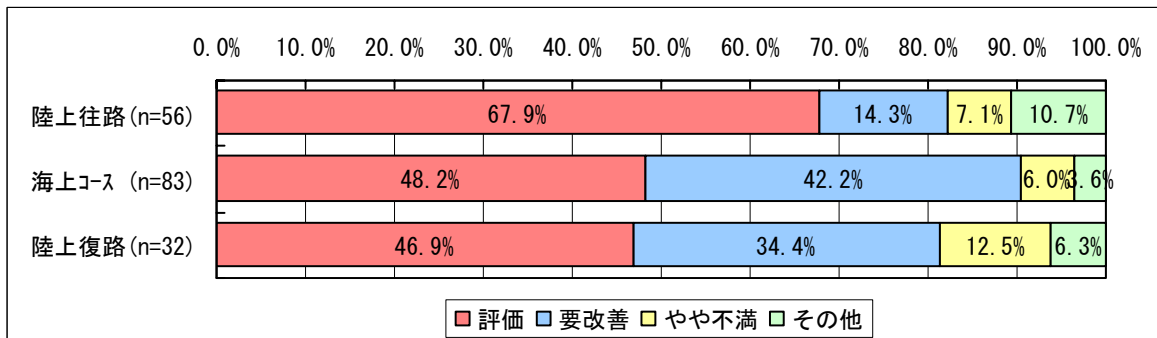
陸上往路については、肯定的に評価する意見が70%近くを占める。

一方海上コース、陸上復路は、肯定的評価意見は50%弱となり、こうした方がいいのではないかとといった要改善意見が40%前後となっている。

Q3-2, Q4-2, Q5-2 コースの魅力に関する自由意見



Q3-2, Q4-2, Q5-2 コースの魅力に関する自由意見



		評価	要改善	やや不満	その他	合計
意見数	陸上往路 (n=56)	38	8	4	6	56
	海上コース (n=83)	40	35	5	3	83
	陸上復路 (n=32)	15	11	4	2	32
構成比	陸上往路 (n=56)	67.9%	14.3%	7.1%	10.7%	100.0%
	海上コース (n=83)	48.2%	42.2%	6.0%	3.6%	100.0%
	陸上復路 (n=32)	46.9%	34.4%	12.5%	6.3%	100.0%

i) 陸上往路

【よかった・再認識・再発見等】

- 釧路のイメージがなおかつ良く感じた。(札幌市,60代,男性)
- 港町くしろを体感できた。(釧路市,30代,男性)
- 車高が高く、眺めが良かったです。ガイドさんの史跡案内で今までわからなかった碑がわかり、良かったです。(釧路市,50代,男性)
- 啄木の足跡がわかり、興味深く感じました。(東京都,40代,男性)
- 歴史や石川啄木さんのお話など、ガイドさんのお話も楽しくあっという間でした。(釧路市,30代,女性)
- 海に入った瞬間、山並みがきれい、海の色もとてもきれいに感じ、観光には最高。街を走行中も、手を振る市民の感じも良かったです。(釧路市,一代,一)
- 釧路市内の施設の説明があってわかりやすい。(千葉県,30代,男性)
- 歴史を観ることができました。(東京都,60代,男性)
- 港から中央埠頭が見られ、親しみを持った。北大通のメインストリートを進んで良かった。(釧路市,40代,男性)
- 陸上と海上の視点の違いがおもしろい。(釧路市,40代,男性)
- 海と陸の両方の景色を気持ちよくながめた。(札幌市,40代,男性)
- 水に入る時のしぶきが面白かったです！！(釧路市,20代,女性)
- ゆったりしててよかった。オープンデッキは風が気持ちよかった。(釧路市,20代,女性)
- 幣舞橋の説明が良かった。(釧路市,30代,男性)
- 釧路に来ることはあっても観光することはなく、とても良い経験ができました。ガイドの方のお話がとても楽しかったです。(札幌市,40代,女性)
- 歴史のある釧路のことを短い時間ながら学べて、とても有意義な時間を過ごせました。(札幌市,40代,男性)
- 見慣れた景色が少し違って見えました。小さい男の子たちが目を輝かせて手を振ってくれた。(釧路市,30代,女性)
- 子供達は普段、北大通や米町に行くことがないので、とてもめずらしそうに見ていました。(釧路市,30代,女性)
- 観光の方々には良いと思います。(釧路市,30代,男性)
- 説明が多く、わかりやすかった。(釧路市,60代,女性)
- とっても良かった。良い体験ができました。(釧路市,50代,女性)
- いろいろな説明があって良かった。少し聞こえにくかったのが残念でした。(釧路市,30代,女性)
- いろいろな人が手を振ってくれたり、豪華客船をすぐ近くで見られたりして、すごく良かったです。(釧路市,30代,女性)
- 海に入るときにとっても感動した。(釧路市,40代,男性)
- 自分の住んでいる街を観光。再発見。楽しかったです。(釧路市,50代,女性)
- 普段見過ごしているところも、詳細なガイドさんの説明をお聞きして、新鮮で発見も多く、私自身も知人に伝えられることもありました（逆に言うとガイドさんなしでは魅力が伝わりきらないと思う）。(釧路市,30代,女性)
- 釧路に住んでいてもなかなか気づかない所が見られて楽しかった。(釧路市,30代,男性)
- ガイドさんが色々と教えて下さったので、知らないことがたくさんあるなと思った。(釧路市,20代,男性)
- ガイドさんの案内が良く、釧路市に住んでいるが再発見もあり大変楽しかった。(釧路市,50代,女性)
- 普段見ることの出来ない所から見られて良かったです。知らない街に観光に来たみたいでした。(釧路市,30代,女性)
- 市内に居住していると交通量の多い道路ばかりの走行ですが、今回はあまり通ることのない道を走ったので、こんなところもあるのだなと思った。バスの視点の高さも新鮮です。(釧路市,30代,女性)

- ガイドさんの説明があり、また地元の間人もあまり行かないようなところで逆に新鮮。(釧路町,40代,男性)
- 釧路に住んでいてもわからない事がたくさんあるので、釧路市内のガイドがおもしろかったです。(釧路市,60代,男性)
- 釧路に住んで知らなかった事がたくさんあって、いろんな事を知り勉強になり、海も楽しかったです。ありがとうございました。(釧路市,70代,女性)
- 普段は街の景色など見慣れているので見ていないが、このような形で見ると改めてその良さがわかって大変良い。(釧路市,70代,男性)
- ふだんと違う景色に感じました。(釧路市,50代,女性)
- 住んでいても知らないところを発見できた。(釧路市,30代,女性)
- 通常通らない所もあり、とても良かった。(釧路市,70代,男性)

【こうした方がいいのでは】

- 米町公園展望台に寄るなど工夫を。(釧路市,50代,男性)
- もっともっと釧路としての魅力をブラッシュアップ、創出(→駅前再観覧(危機感をもって市民一体でテーマを決めて取り組む必要あり))を視野に更なる改善をお願いします。ロータリー型交差点も珍しいので紹介しては？(日本でここと旭川の2ヶ所しかないと思うのですが)。(札幌市,30代,男性)
- 時間があれば、立ち寄りも可ならもっと良いのかも？(釧路市,一代,男性)
- 観光客向けにするのであればもっと見所を増やして、各所のアピールポイントを教えてほしいと思いました。入水時のスピードがもう少し速く、スプラッシュ体験を出来たらもっと楽しかったと思う。(釧路市,30代,女性)"
- 史跡中心の運行ではなく、外貨を考えると商業地の(末広地区)案内をした方がいいと思う。(釧路市,40代,男性)
- 今後細岡展望台、岩保木水門も考えて。(釧路市,60代,男性)
- 福司酒造見学試飲コース 米町公園コーヒータムコースなど。(釧路市,50代,男性)
- 出来ることなら、春採湖周辺も運航出来たらと思いました。(釧路市,50代,男性)

【やや不満】

- 小学生の社会科見学としては良いと思う。観光としては少し厳しいのでは。(札幌市,30代,女性)
- なかなか考えられたコースとは思いますが、ビジュアル的に欠けるような気がする。(釧路市,50代,男性)
- 陸路のコースで、もっと魅力が欲しい。(釧路市,50代,男性)
- 観光という意味では物足りない。水陸両用という特異性を強調するのであれば、水上をもっと増やすべき。今日のは陸上はあまり意味がなかったのでは…？(釧路市,50代,男性)

【その他】

- 乗る目的により、水陸両用車に関心のある人と、単に観光に関心がある人によって異なるので、ガイドの説明の受け取り方が違ってくるものと思われます。(兵庫県,60代,男性)
- 北大通がさびれているのを改めて感じた。(釧路市,30代,女性)
- とても良い乗り物です。(釧路市,20代,男性)
- 風の入りが激しかった。(釧路市,30代,女性)
- あっという間でした。(釧路市,30代,男性)
- シードリームなどもなくなって、海から港を見る機会がなくなっていた。今後の復活に期待したい。(釧路市,50代,男性)

ii) 海上コース

【よかった・再認識・再発見等】

- 入水ポイントはとても良かった。(釧路市,30代,男性)
- 揺れも少なく、適度なスピードで、快適でした。(東京都,40代,男性)
- 海の景色そのものが良かった。(釧路市,20代,男性)
- 入水するときのワクワク感がある。今日は快晴で穏やかな日であり、波のスプラッシュも楽しめたが、今回以上波が出ると、海面と視線が近く、楽しめたが恐さがあると思う。(釧路市,30代,女性)
- ゆれるのも新鮮だった。(釧路市,20代,男性)
- 晴天に恵まれ最高。音が静かであった。(帯広市,60代,男性)
- 海から釧路を見たのは初めてだったのでとても楽しかったですし、釧路がキレイに見えた。(釧路市,30代,女性)
- かもめが近づいて来なかったのも、景色に集中できた。(釧路市,30代,女性)
- 海上から港をぐるりと見渡すことで、あらためてこのまちは港町だと思いました。阿寒の山並みもきれいにみえました。天気のおかげで。(釧路市,30代,女性)
- とっても良かった。(釧路市,60代,男性)
- 海から釧路の街を見ることが出来最高、阿寒連峰とのコントラストが良かった。(釧路市,60代,男性)
- 海上保安の船や、色々な船とすれ違い面白かった。(釧路市,20代,女性)
- 船酔いもなくよかったです。(釧路市,60代,男性)
- 主人が船員だったので、主人の船員時代が思い出されました。(釧路市,60代,女性)
- 陸と違って波を間近で感じられて良かった。船と違ってゆれもなく乗りやすい。(釧路市,30代,女性)
- 特に海上から見る街並みが良い。(釧路市,50代,男性)
- 飛鳥Ⅱも丁度停泊しており、素晴らしい眺めでした。(札幌市,40代,男性)
- 海面が近くに感じられて良かった。(釧路市,30代,女性)
- 飛鳥Ⅱ (海から見た船)。(岩手県,50代,男性)
- 海上に行けたのが新鮮だった。(釧路市,30代,女性)
- 飛鳥が見れた。(釧路市,30代,男性)
- 目線の上から見た釧路の港や飛鳥号が素晴らしかったです。今日という日でよかったです。(釧路市,60代,女性)
- 飛鳥号も見ることができ、いい一日でした。(釧路市,60代,女性)
- 波が高く、遠くまで行けず、とても残念でしたが感動しました。(釧路市,30代,女性)
- 飛鳥Ⅱが見れた。水に入る時の感触がたまらなかった。(釧路市,10代,女性)
- 今回は特に飛鳥Ⅱが入港していたので、インパクトも強かった。(釧路市,50代,男性)
- 快適でした。(釧路市,50代,女性)
- 飛鳥Ⅱが来ていて、海から釧路の産業がわかりやすかった。(釧路市,60代,女性)
- 旅客船が近くに見れた。(釧路市,30代,一)
- 飛鳥Ⅱを洋上から眺められたのが良かった。(釧路市,40代,男性)
- 今日は夕陽がきれいに見えて良かった。(釧路市,30代,女性)
- 普段陸上ばかりで海上から街を眺めることがないので、本当に良かった。(釧路市,60代,男性)
- 今回は特別に飛鳥号が来ていたので、すばらしく大きな船も見れてとても良かったです。(釧路市,60代,女性)
- いろいろな人が手を振ってくれたり、豪華客船をすぐ近くで見られたりして、すごく良かったです。(釧路市,30代,女性)
- 河口から釧路川を見た眺めが特に良く、釧路の素晴らしさを改めて認識しました。但し、岸壁まわりの寒々とした場所には淋しさを感じました。(釧路市,50代,男性)
- 海上から見ることはあまりないので新鮮だった。(釧路市,30代,男性)
- 普段目にすることが出来ない眺めなので新鮮でした。(釧路市,40代,男性)
- 海上から見る釧路市に感動した。(釧路市,40代,男性)

- 海から街を見ることはないので、とても新鮮で楽しかったです。(札幌市,40代,女性)
- 水上から眺める街は、またいつも陸から見る景色と違い、他の街を見ているような気がします。釧路の街を他の角度から見る、良い観光の目玉になると思います。まだ決まったわけでもないのですが、是非やってほしいと思います。やる以上、前のシードリーム又はくるりんの二の舞にならないようにがんばって下さい。(釧路市,60代,男性)

【こうした方がいいのでは】

- 釧路川の方まで入って来た方が観光には良いと思う。(札幌市,60代,男性)
- 岸に近いところをもっと走行してほしい。(釧路市,30代,女性)
- もう少し市街地に接近してほしい。(釧路市,30代,男性)
- もう少し岸に近づくとか、幣舞橋付近に近いと良いと思う。(釧路市,30代,男性)
- 接岸、もしくは船で飲み物の差し入れがあれば。(釧路市,30代,男性)
- もう少し外の方まで行くかと思った。また、見どころがあれば近づくのも良いかも知れません。(釧路市,40代,男性)
- 海でなく、「釧路川」特に幣舞橋やクスリ橋の下を通過して水門まで行くコースの方が見ごたえがあると思います。(釧路市,30代,男性)
- 帰りのコースはともかく、夕陽の時間に運航できるとな楽しめるかと思う。(釧路市,20代,男性)
- 眺めが全体は見えるが、遠すぎるのでポイントを決めて近づくなどのコースを考えるべきかと思う。(釧路市,50代,男性)
- MOO周辺まで運航してほしい。(釧路市,50代,男性)
- ちょっと波があったので恐かった。川の方で幣舞橋から久寿里橋の経路が良いと思う。(釧路市,50代,男性)
- もう少し沖に出たかった。(釧路町,30代,男性)
- ゆれも少なく、もう少し海上にいたかったです。(釧路市,30代,女性)
- 出来れば川に入り、上流の方へ左右街並みを見ながら運行できれば良いかと思います。(東京都,60代,男性)
- 河口に近づいて、ゆっくり説明する時間があれば良かった。(釧路市,60代,男性)
- 夜景を見たいと思った。(釧路市,30代,男性)
- 街の方を見れば。(釧路市,60代,男性)
- 釧路川付近まで近づいてほしい。(釧路市,30代,男性)
- 釧路川の方が景観がよかったと思う。(釧路市,一代,男性)
- ややさびしさも感じた。沖側、陸側のビューポイントをさらに高いレベルで熟考してほしい。期待しております(c f、昨日乗ったDMVではところどころ見所を作り出している(と思われる)努力の跡が見られた)。(札幌市,30代,男性)
- 海上からMOOを見せるべきだ。橋の下をくぐるとか。(釧路市,40代,男性)
- 思ったよりゆれなくてだれでも楽しめると思う。もう少しゆっくり海の上に出たかった。(釧路市,20代,女性)
- 河口だけでなく川の方にも行けたらいい。橋の下をくぐるのができれば楽しいかもしれない。(釧路市,30代,男性)
- 時間的なものもあるのだろうが、本州製紙の方や西港等も見なかった。(釧路市,70代,男性)
- 自分としては、もっと色々見せて欲しかった。例えばMOOの近くまで来るとか…。(釧路市,50代,男性)
- もう少し港内(副港西港)を見なかった。(釧路市,30代,男性)
- JRのDMVとリンクして考えては。(釧路市,60代,男性)
- もっと沖に出てみたかったです。(釧路市,10代,女性)
- 風が強くて沖まで行けなかったのが残念だったが、海に入ったときは感動した。(釧路市,40代,女性)
- 波があったので、あまり遠くまで行けなかったのが残念。特に飛鳥をもっと間近で見なかったです。(釧路市,40代,女性)

- ちょうど飛鳥も来ていて良かった。もう少し水の中にいる時間があっても良かった。(釧路市,30代,女性)
- 幣舞橋の下をくぐりたい。(釧路市,30代,女性)
- 折り返す目安みたいなのがあるといいと思った。(釧路市,30代,女性)
- もっと遠くというか、また別の場所からあがって街を探検したかった。(釧路市,30代,女性)
- 釧路川の方も見たかった。(釧路市,30代,男性)

【やや不満】

- 子供が船に弱く、心配だったので長く感じ疲れた。(釧路市,30代,男性)
- 海がきたないと思った。(釧路市,30代,男性)
- 海がもう少しきれいだとお良かった。エコポートなども近くで見てみたかった。(釧路市,50代,男性)
- あれ以上長いと酔うかもしれないと思った。もっと天気が良いければよいと思った。(東京都,40代,女性)
- 漁船ばかりでした。(釧路市,20代,女性)

【その他】

- 意外に揺れる。波が強いため？(釧路市,20代,男性)
- 分かりやすいパンフレットが必要。(位置が分かるもの) (釧路市,30代,男性)
- ぜんぜんゆれないのでびっくりしました。(釧路市,30代,女性)

iii) 陸上復路

【よかった・再認識・再発見等】

- 釧路の内容が理解できた。(札幌市,60代,男性)
- 釧路の市街地（陸）も、高い視点から見るのが楽しかった。(釧路市,30代,女性)
- 釧路の発祥について、ガイドさんの説明を興味深くうかがいました。(東京都,40代,男性)
- 坂道の特性が活かされていて良い。(帯広市,60代,男性)
- もう少し乗っていたい気がしました。(釧路市,20代,女性)
- 南大通を中心にとっても楽しかったです。釧路の歴史を感じました。(札幌市,40代,男性)
- 説明もあり、良かった。(釧路市,60代,女性)
- 夕陽が良かった。(釧路市,70代,男性)
- いつも何げなく見ていた街ですが、ガイドの方の説明が詳しくとても良く、改めて釧路を認識した感じです。(釧路市,60代,女性)
- 見える景色にあわせたガイドさんのお話が、釧路市民だけど知らないこともあり、楽しかった。(釧路市,30代,女性)
- さびれていると思った釧路が、以外に「すごい」と思う話がガイドさんから聞かされてビックリだった。歴史によって釧路の魅力を感じた。(釧路市,10代,女性)
- 釧路の歴史を知る機会となった。(釧路市,60代,女性)
- 車を運転することばかりで、ゆっくりと施設等を眺める事はなく、その意味では又違った感じでよかったし、釧路もまだ良い所があると思った。(釧路市,60代,男性)
- 釧路人だけど、あまりよくわからなかったこともあって、改めて釧路の良さを知れて良いと思った。(釧路市,30代,女性)
- 釧路の魅力を改めて感じた。(釧路市,40代,男性)

【こうした方がいいのでは】

- 啄木ネタが多すぎるように思った。歌碑だけでなく、歌も詠んでほしかった。(釧路市,30代,男性)
- コース設定が難しいと思います。長さは良いが、どこを通るかが難しいですね。洗うのはもう少しバシャ〜ッとやるかと思った。(釧路市,40代,男性)
- コースを考えた方が良く。例えば米町公園の入口で下車し、見ていただいたら。(釧路市,60代,女性)
- 海上を終えた後は、そのまま真っ直ぐ帰路についてもいいと思う。(釧路市,20代,男性)
- 洗車の時間（ただし、いろいろなエピソードを紹介すれば、いいネタ（関西人風にいえば）になると思う）。(札幌市,30代,男性)
- 釧路の名所である米町公園からの眺めを見れたほうが良かったと思います。(釧路市,30代,女性)
- 米町界隈や弥生町等をまわって見ると良い所があるのではないかと思います。(釧路市,70代,男性)
- 米町公園で降りて休憩して景色を見たかった。(釧路市,40代,女性)
- 途中1ヶ所くらいトイレ休憩を合わせて寄ったらよいかと思いました。(米町公園など) (釧路市,50代,男性)
- もう少し範囲を広げてほしかった。(釧路市,50代,女性)
- 久寿里橋も通りたかった。(釧路市,40代,男性)

【やや不満】

- 帰りのコースをもう少し工夫すると良いかも。(釧路市,30代,男性)
- 裏通りで家的なものが多く観光客にはちょっと。(釧路市,60代,男性)
- 裏通りで寂しかった。(釧路市,30代,男性)
- 見るべきところがない。見せるのならばそれなりのコースを設定しなければ…。(釧路市,50代,男性)

【その他】

- 坂道に弱いのがよくわかった。(釧路市,20代,男性)
- 60分と聞いてましたが、半分くらいの時間を感じました。(釧路市,30代,女性)

iv) コースに入れてほしい場所や施設、コースの改善に向けた意見

コースに入れてほしい場所や施設、コースの改善に向けた意見としては、どちらも共通で海上コースについては、「釧路川を上りフィッシャーマンズ・ワーフのあたりまで行ってほしい」という意見が多い。

場所や施設としては、「米町公園・米町かいわい」、「春採湖」、「釧路湿原」、「西港」などがあがっている。

意見（集約）	意見数
釧路川を上るようなコース	32
米町公園・米町かいわい	15
春採湖	12
釧路湿原	8
西港方面	8
これで良い	7
千代の浦	5
海上コースの延長・充実	4
副港	4
石炭関係施設	3
MOO付近からの進水	2
釧路で活気のあるところ	2
公園等への立寄り	2
展望地	2
久寿里橋付近	1
釧路ラーメンまるひらの前など	1
釧路町方面	1
城山方面	1
新釧路川	1
進水上陸地点の変更	1
弁天ヶ浜	1
目的次第	1
臨港鉄道	1
歴史や施設のあるところ	1

【コースに関するもの】

- 海上よりも、幣舞橋をくぐる川コースも魅力があると思う。(釧路市,30代,女性)
- 海から見える景観をきれいにしたほうが良いと思う。(釧路市,40代,女性)
- 海上の時間がもう少し長いと良かった。(釧路市,30代,男性)
- 海に入る時間を長くしてほしい。(釧路市,一代,一)
- 海に入ってからもう少し遠い(灯台近く)ところまで行けたらなあと感じた。(釧路市,50代,女性)
- 海上の時間をさらに長くしても良いと思いました。(釧路市,40代,男性)
- 海上時間がもう少しほしかった。(釧路市,60代,女性)
- 陸上ルートでも良いけれど、海上で足を延ばすことはできないかな。(釧路市,40代,男性)
- 複数コースで選べるといいかも。(釧路市,一代,男性)
- 複数のルートがあると良い。(釧路町,30代,男性)
- 陸上の観光ルートがもっと観光向けになったら良いと思う。今回はおもしろかったが、何をターゲットにしているのかがわかりにくい。(札幌市,30代,女性)
- 初めの陸が長かった。(釧路市,20代,男性)

【入水ポイントの変更など】

- スロープ付近がゴミだらけ。他の船や港関係者との交流など。(釧路市,30代,男性)
- スプラッシュポイントを芸術館前あたりへ。(釧路市,30代,男性)
- 入水時の場所が殺風景で地味、もっと派手でも良いと思う。(釧路市,40代,男性)
- MOOの周辺から入水してほしい。(釧路市,30代,男性)
- 海に入るところが知人町だと味気ないので、もう少し観光名所の所からおりてほしい。(釧路市,30代,女性)

【下車等の立寄りポイントや写真撮影サービスなど】

- 乗車したメンバー全員での記念撮影、家族カップルでの写真撮影サービスなどあったら良い。(釧路町,30代,女性)
- 途中降りて記念撮影等が出来ると良い。(釧路町,30代,男性)
- 下車観光。(釧路市,30代,女性)
- 米町公園での休憩。(釧路市,50代,男性)

【子どもも楽しめるように】

- 小さい子供には、もう少し短いコースがあっても良いと思う。(釧路市,30代,女性)
- 石川啄木の話など、大人向けで子供にとってはあまり楽しくありませんでした。子供でも楽しめるようにしてほしいです。(釧路市,10代,女性)

【車内の防寒対策】

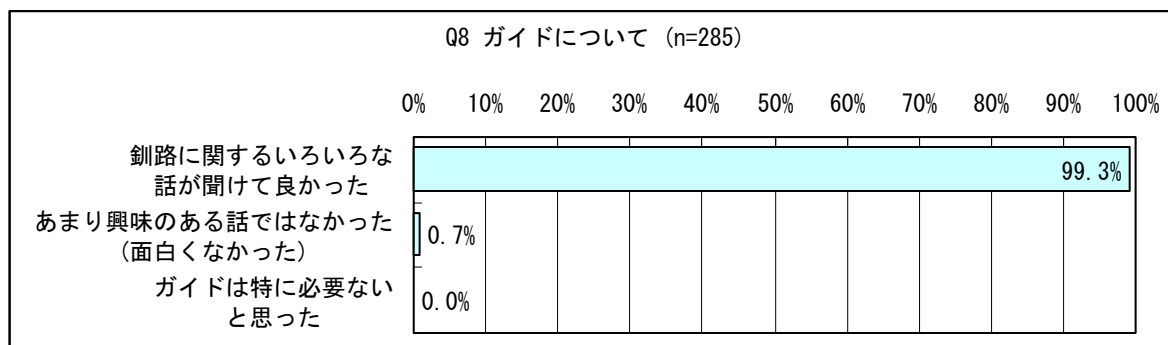
- 車内が少し寒く感じた。海の風を感じるには仕方ないことかもしれないが、防寒着等あるとよいのでは？(釧路市,20代,男性)
- 晴れた日は良いですが、今日のような少し寒い日は室内温度または室内に入る風の対策が必要かと思います。(釧路市,50代,男性)

【その他】

- 停車して説明を聞きたい。船の近くにかもめが来ているのでその解決をした方が良い。(釧路市,30代,男性)
- 水陸両用車と、他のバス等の組み合わせなどで役割分担することで、回転効率を上げることが出来ると思う。来年初めに小型ツアーの検索サイトが立ち上がるので、いろいろなニーズに応えられるしくみづくりが成功のカギの1つ。(札幌市,30代,男性)
- 本格的に導入した場合の搭乗料金も気になる所である。(釧路市,70代,男性)

3) ガイドについて

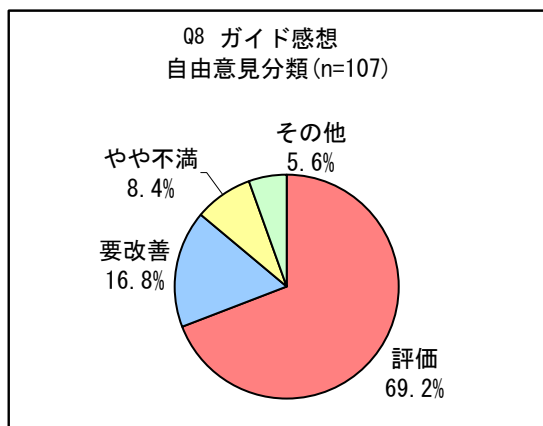
ガイドについては、ほとんどの人（99.3%）が「良かった」と回答している。
また自由記入欄にも100を超える意見が記入され、ガイドの重要性が伺える。



	回答数	構成比
鉦路に関するいろいろな話が聞けて良かった	285	99.3%
あまり興味のある話ではなかった (面白くなかった)	2	0.7%
ガイドは特に必要ないと思った	0	0.0%
合計	287	100.0%
無回答	6	2.1%

《自由記入欄意見》

ガイドについての自由記入欄の意見についても、コース評価同様4つに分類し、意見を整理した。
肯定的に評価する意見が70%近くを占め、高い評価が得られている。



	意見数	構成比
評価(よかった等)	74	69.2%
要改善	18	16.8%
やや不満	9	8.4%
その他	6	5.6%
合計	107	100.0%

【よかった・再認識・再発見等】

- 大変良かった。他にも話ができると思う。(札幌市,60代,男性)
- 鉦路と啄木が良かった。水揚げ日本一だったことを強調。(鉦路市,60代,女性)
- ガイドさんの解説がゆっくりでわかりやすく、聞きやすかった。(鉦路市,30代,男性)
- 声も聞き取りやすく、ガイド内容も上々で、とても良かったです。(鉦路市,60代,男性)
- ゆっくりしたペースで話していて聞きやすかった。(鉦路市,30代,男性)
- 良く知っておられて勉強になった。(鉦路市,50代,男性)
- 地元にお詳しい方の説明で、大変興味深く思えました。鉦路市民の方々にも十分満足いただける内容と感じました。(東京都,40代,男性)
- 楽しいお話ありがとうございました。(鉦路市,30代,女性)
- ガイドさんの案内もプラス要因と思います。但し、実際に運行するとなるとコストの点でどうなのでしょう。(鉦路市,40代,男性)

- 声のはきはきしていて、とても聞きやすかった。(釧路市,30代,男性)
- ガイドさん一生懸命で案内してくれたので楽しかった。(釧路市,一代,一)
- 解りやすく興味がある内容で良かった。(釧路町,30代,男性)
- 一生懸命なガイドに好感をもった。市民がみな釧路を好きになれる内容だった。(釧路市,30代,男性)
- 色々な知識を得られて良かった。(釧路市,20代,男性)
- 色々な裏話が聞けて良かった。(千葉県,30代,男性)
- 私は地元ではないので色々話が聞けて良かったです。(千葉県,30代,女性)
- とても良かったと思います。(釧路市,30代,女性)
- ガイドの方がいて観光気分をより楽しめました。(釧路市,30代,女性)
- ガイドさんの説明が大変良い。(釧路市,50代,男性)
- ガイドは必要。(釧路市,60代,男性)
- 最高でした。(釧路市,40代,男性)
- ガイドさんの話を聞きながらの乗車が楽しかった。(札幌市,40代,男性)
- 木俣先生の話がおもしろかったです。(釧路市,20代,女性)
- 年配の方でしたので、話(歴史)が聞けて良かった。(釧路市,30代,男性)
- 知らないコトをたくさん知れて良かった。(釧路市,20代,女性)
- 何気ないと思われる建物にも歴史、由来があると知れた(釧路最古の小学校)。(札幌市,30代,男性)
- 良かった。(札幌市,10代,男性)
- とても親切でよかったです。(札幌市,30代,女性)
- 大変よかったです。(釧路市,60代,男性)
- 原稿を見ずに色々お話されていて感心しました。(釧路市,30代,女性)
- 観光目的である以上、ガイドは絶対必要。ガイドはとても良かった。(釧路市,70代,男性)
- ガイドがないとつまらないと感じたでしょう。ガイドは絶対必要!(釧路市,40代,男性)
- 幣舞橋の説明が良かった。(釧路市,30代,男性)
- 楽しみながら聞けました。(釧路市,50代,女性)
- わかりやすくてとてもよかったです。(釧路市,40代,女性)
- ガイドさんがとてもよかったです。(釧路市,20代,男性)
- ガイドさんがいてとても良かった。(釧路市,30代,女性)
- ガイドさんの印象はとても良く、たのしかった。(釧路市,50代,女性)
- 楽しいガイドでした。(釧路市,60代,女性)
- ガイドの方のお話がとても上手で、とても楽しかったです。(札幌市,40代,女性)
- ガイドさんは絶対必要だと思います。全年齢に学べる内容でよかったです。(札幌市,40代,男性)
- あたたかみのあるガイドさんで楽しかったです。(釧路市,30代,女性)
- ガイドで良さが倍増。(東京都,70代,男性)
- ガイドさんの話もわかりやすく、楽しかった。(岩手県,60代,女性)
- 単語がよくわからないことがあったけど、色々ご存知でよかったです。(千葉県,30代,女性)
- ガイドさんが上手でした。とても良かったです!(東京都,50代,男性)
- 石川啄木の話が良かった。(岩手県,50代,一)
- ガイドさんの優しい語りが良かったです。(釧路市,20代,女性)
- わかりやすくてとても良かった。(釧路市,60代,女性)
- とても分かりやすく、聞きやすく、対応も優しく、アットホームな雰囲気ですごく良かったです。(釧路市,30代,女性)
- 丁寧で大変良かったです。(釧路市,50代,女性)
- 興味をそそる話が多くて良かった。(釧路市,10代,女性)
- 釧路の歴史がわかった。(釧路市,50代,女性)
- お話が上手でよかったです。(釧路市,50代,女性)
- 施設や史跡の詳しい説明や乗客を飽きさせない話術など、楽しい雰囲気にさせて貰い、感謝。(釧路市,60代,男性)

- 釧路にいて知らなかった事など、ガイドさんの説明で良くわかり、良かったです。(釧路市,60代,女性)
- バスガイドさんは臨機応変に会話をしてくれて良かった。(釧路市,30代,女性)
- 感じが良く、分かりやすく、良かったですと思います。(釧路市,30代,女性)
- とても分かりやすく良かった。(釧路市,40代,男性)
- プロのガイドさんでとっても話し方が上手でよかったです。(釧路市,60代,女性)
- 釧路に住んでいても再認識することがあった。(釧路市,50代,男性)
- ガイドの方のお話が良く、飽きなかった。改めて釧路の街を再発見することができた。(釧路市,40代,男性)
- いままでの釧路の知らない魅力を知ることができた。(釧路町,30代,女性)
- ガイドさんがいてくれたおかげで釧路を新しい目線で見ることが出来て、楽しく過ごせました。(釧路市,30代,男性)
- コースになっていた所は小さい時に住んでいましたが、改めて知った事もあり楽しかったです。(釧路市,30代,女性)
- 知らないことが多くあった。(釧路市,30代,男性)
- 釧路に住んでいるが、知らない事を沢山聞いて良かった。(釧路市,20代,女性)
- 知らなかった事が色々わかりました。(釧路市,70代,女性)
- 釧路に住んでいても知らなかった話を聞いて新鮮だった。(釧路市,30代,女性)
- 何気なく通るだけの道だったが、ガイドが付き、お話を聞くと新鮮で良かった。(釧路市,40代,女性)
- 釧路の勉強になった。(釧路市,30代,男性)
- さびれていると思った釧路が、意外に「すごい」と思う話がガイドさんから聞かされてビックリだった。(釧路市,10代,女性)
- 木村さんのガイドは釧路についてとても分かりやすく、新たな発見があり、楽しくためになった。(釧路市,30代,女性)
- 市民でも知らなかった話を聞くことが出来て良かった。(釧路市,30代,男性)

【こうした方がいいのでは】

- 観光客には良いと思うが、地元民には別の視点が必要かも。(釧路市,30代,男性)
- ずーっとガイドしっぱなしでは、音も大きくて疲れます。時には何も説明がなく、雰囲気を楽しんだり、波の音を聞いたりしたい。エンジンの音と大音量のガイドの声は少し考えさせられます。ガイドの方の一生懸命さはとても素晴らしいと思います。(釧路市,40代,女性)
- 話が長すぎる。(釧路市,50代,男性)
- 基礎知識がある人は良いが、ない人にとっては唐突すぎるのかもしれない。(釧路市,50代,男性)
- 重点的な説明があった方がよい。(釧路市,50代,男性)
- 話やエピソードにもう少しつながりがほしかった。(釧路市,50代,男性)
- 水陸両用車の特殊性、機能などをもう少し詳しく知りたかった。(兵庫県,60代,男性)
- 食物屋さん、レストランの情報など頂ければ…。(東京都,60代,男性)
- もう少し詳しく名所を絞って、それぞれの名所について詳しく話してほしい。(札幌市,30代,男性)
- お客さんとの掛け合いをもう少し入れたほうが良い。(札幌市,40代,男性)
- インフォメーションは必要。もっと多くしても良い。(釧路市,一代,男性)
- もっと観光に関する知識を聞きたかった。(釧路市,50代,男性)
- 良かったが、もっといろいろな話があったのではないか。啄木のことばかりだったので？釧路はいろいろな歴史はあると思う。それと最近のことも。(東京都,40代,女性)
- ガイドは絶対に必要。有料であればガイドさんの質を高くしたほうがいい。(釧路市,40代,女性)
- ガイドは若い人が良い。(釧路市,30代,女性)

- 左右の言い方がガイドさんから見ての言い方になっていたときが多々あったので改善してほしいです。(釧路市,40代,女性)
- 間がなく、海に入ると聞きづらかった。(釧路市,60代,女性)
- いいお話なのに、聞こえにくい所があった。(釧路市,30代,女性)

【やや不満】

- ガイドの声（マイク）が聞き取りづらい。(釧路市,30代,男性)
- 明らかに間違ったガイド箇所が2ヶ所あった。(釧路市,30代,男性)
- さすがに慣れていない乗り物なので、ぎこちなかった。(釧路市,20代,男性)
- もっと詳細（掘り下げた）の説明が欲しかったです。(釧路市,30代,女性)
- あまり釧路の事を知らない方だったのでしょうか？(釧路市,30代,男性)
- しゃべりすぎ。(釧路市,30代,男性)
- もう少し釧路の案内がほしかった。(釧路町,50代,男性)
- 聞き取りにくかった。(岩手県,50代,男性)
- 子供からしてみれば、話の内容はおもしろくなかった。(釧路市,10代,女性)

【その他】

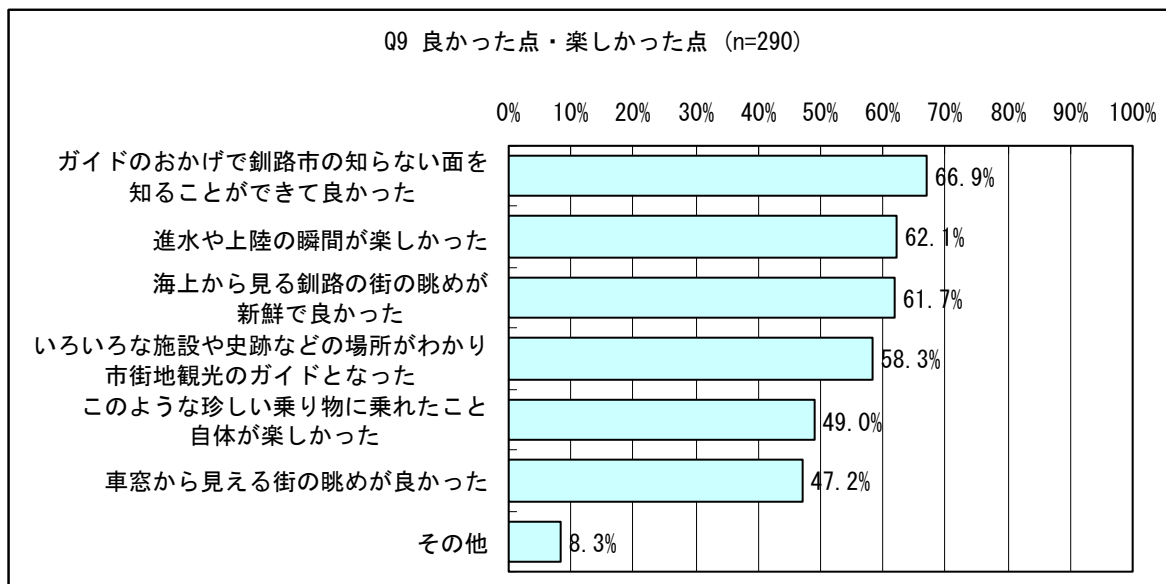
- ガイドがないと辛いなあ。(釧路市,40代,男性)
- 通常の運行が可能になった時もガイドは必要だと思います。(釧路市,30代,男性)
- 車の音が少々うるさい（古い車なので仕方が無いと思うが）。(釧路市,50代,男性)
- ガイドさんがいないと車内がうるさいので場もたない。(釧路町,40代,男性)
- 観光客には案内になるが市内に住んでいるので必要なかった。(釧路市,40代,男性)
- 最初は神戸からのガイドさんだと思った。(釧路市,70代,男性)

4) 今回の水陸両用車の運行について

①良かった点、楽しかった点

良かった点、楽しかった点については、「ガイドのおかげで釧路市の知らない面を知ることができて良かった」が最も多く66.9%となっている。

次いで多かったのは「進水や上陸の瞬間が楽しかった」62.1%、「海上から見る釧路の街の眺めが新鮮で良かった」61.7%と、水陸両用車ならではの魅力の部分となっている。



	回答数	構成比
いろいろな施設や史跡などの場所がわかり市街地観光のガイドとなった	169	58.3%
車窓から見える街の眺めが良かった	137	47.2%
ガイドのおかげで釧路市の知らない面を知ることができて良かった	194	66.9%
海上から見る釧路の街の眺めが新鮮で良かった	179	61.7%
進水や上陸の瞬間が楽しかった	180	62.1%
このような珍しい乗り物に乗れたこと自体が楽しかった	142	49.0%
その他	24	8.3%
回答者数	290	100.0%
無回答	3	

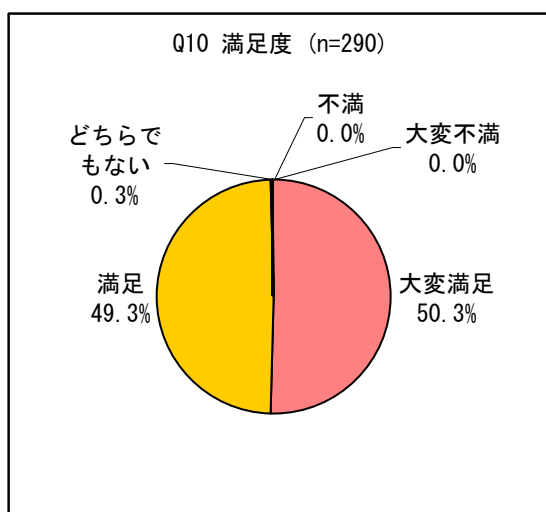
《自由記入欄意見》

- 入水・上陸の時が一番盛り上がった。(札幌市,30代,女性)
- 子供に乗せてあげたい。小中高の新聞部など。(釧路市,30代,男性)
- 予想していたより、振動や音は気になりませんでした。(東京都,40代,男性)
- 本当に楽しくおもしろかった。(釧路市,一代,一)
- 港町くしろを実感できた。(釧路市,30代,男性)
- 子供たちはぜひもう一度乗りたいと言っています。(釧路市,30代,女性)
- 思った以上に楽しかった。(釧路市,40代,男性)
- 普段乗る事が出来ない車に乗れてすごく楽しかった。(釧路市,20代,女性)
- 水がかかるのも体験、いっそアメリカの様にレインコート着用も。(釧路市,一代,男性)
- ラッキーでしたとても。(釧路市,60代,女性)

- 米軍のDUCKがこのように楽しい思い出作りに活用されている事が、すごくうれしく思います。(札幌市,40代,男性)
- めずらしい乗り物に乗れて良い体験になった。(釧路市,10代,女性)
- 観光客には絶対良い！幣舞橋くらいしか見るところがないので。(釧路市,40代,女性)
- 初めて乗れたこと。(釧路市,30代,男性)
- 釧路は美しい町と感じました。(釧路市,50代,女性)
- 子供と一緒に乗って楽しめた。(釧路市,30代,一)
- 多くの人たちに実感してもらいたい。孫にも乗せてやりたかった。(釧路市,70代,男性)
- ぜひ釧路で導入してほしいです。(釧路市,30代,男性)
- 珍しい乗り物に乗りたい子供、きっかけがあれば湿原にいきたい(釧路観光したい)妻、といった様々なニーズを掘り起こす潜在能力を持っていると思います。上陸、着水場所付近でゴミを野焼きしていたところが悪印象になりかねないのでは。(札幌市,30代,男性)
- 今後、釧路にも入れてほしい。(釧路市,60代,女性)
- 陸路のコースに工夫が欲しい。(釧路市,50代,男性)
- そもそも水陸両用車でなくても海上からの眺めを楽しむことができますと思います。船でもいいのかなあ～。(釧路市,40代,男性)
- 釧路の港がさびれていることに改めて気づいた。残念ですね。(釧路市,40代,男性)
- 動きがゆっくりで交通の妨げになっていないか心配だった。(千葉県,30代,女性)

②乗車体験の満足度

「大変満足」が50.3%、「満足」が49.3%とこの2つで99.7%となる。



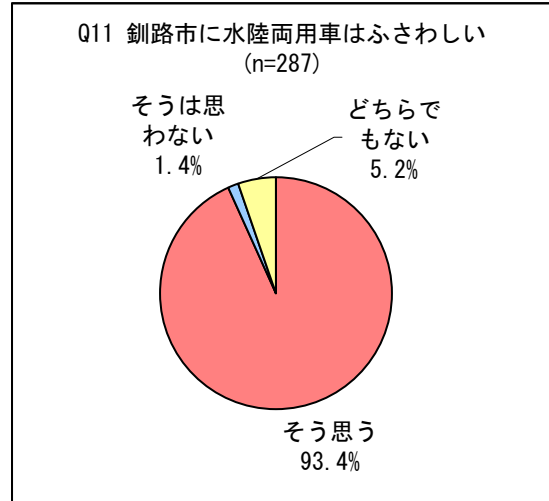
	回答数	構成比
大変満足	146	50.3%
満足	143	49.3%
どちらでもない	1	0.3%
不満	0	0.0%
大変不満	0	0.0%
合計	290	100.0%
無回答	3	

③水陸両用車の釧路市における運行について

Q 水陸両用車は、港や川など水辺が多い釧路市にふさわしい乗り物だと思いますか？

水陸両用車は釧路にふさわしいかどうかについては、93.4%とほとんどの人が「ふさわしいと思う」と回答した。

	回答数	構成比
そう思う	268	93.4%
そうは思わない	4	1.4%
どちらでもない	15	5.2%
合計	287	100.0%
無回答	6	



④印象に残った・改めて訪ねてみたい施設や場所（自由記入）

今回の運行で印象に残った施設や場所、改めて訪ねてみたい施設や場所について、記入された意見を分類、集約すると右表のとおりとなる。

大きな分類では、「釧路の歴史」、「啄木」などが40、「海からの眺め」など乗り物特性によるものが28とこの2つが多かった。

分類	場所や施設（集約）	意見数
釧路の歴史・啄木など	港文館など啄木ゆかりの施設	19
	米町公園・米町かいわい	13
	釧路発祥の地や歴史関連施設	5
	南大通	3
	小計	40
乗り物の特性	海からの眺め	20
	海に入る瞬間	8
	小計	28
特定施設・場所	まなぼっと	3
	和商市場	3
	16番倉庫	2
	こども遊学館	2
	幣舞橋	2
	くじらテント	1
	芸術館	1
	ロータリー	1
	幸町公園	1
	成田もち屋	1
小計	17	
街の風景その他	飛鳥Ⅱ	7
	北大通の寂しさ	1
	毛綱さんの建築作品	1
	夕陽	1
	陸路景色	1
	たくさん	1
	その他	1
	小計	13

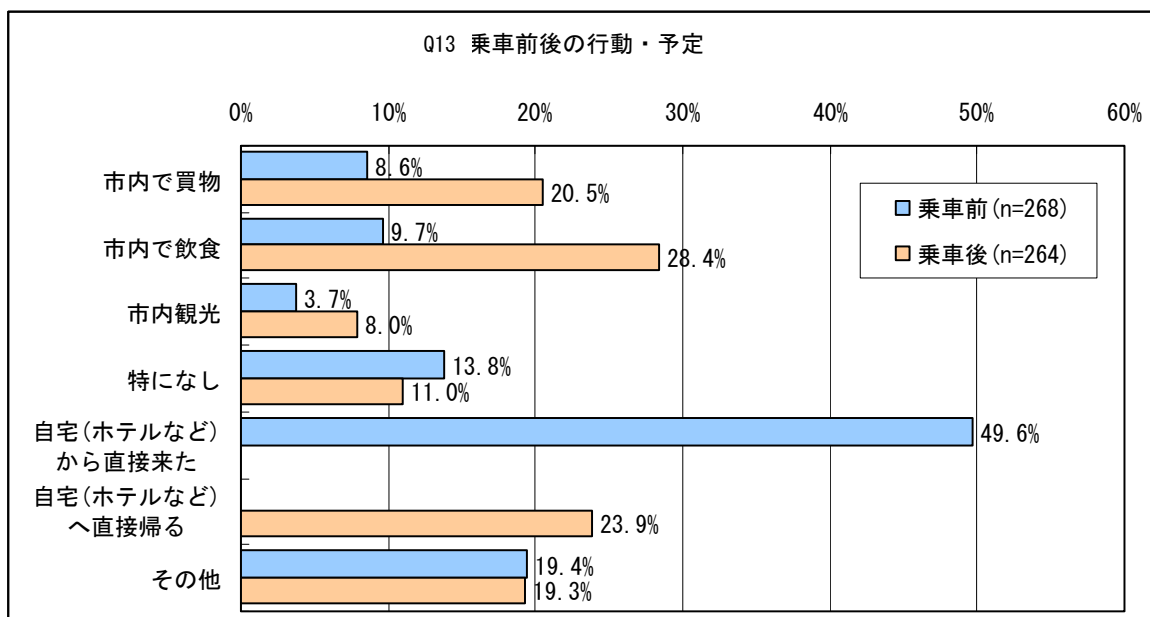
5) 乗車前後の行動及び予定

乗車前の行動については、「自宅やホテルなどから直接来た」が最も多く、ほぼ半数の49.6%となっている。

乗車後の予定については、「市内で飲食」が最も多く28.4%、次いで「自宅やホテルなどへ直接帰る」の23.9%、「市内で買物」の20.5%となっている。

その他が前後いずれも20%近くとなっているが、これは関係者として乗車された方が「仕事」と回答した例が多かった。

なお、乗車のみを目的として、市街地内に対する回遊が創出できなかった人の割合は29.9%であり、7割以上の方は市街地内で何らかの回遊を行ったと推察される。



	乗車前		乗車後	
	回答数	構成比	回答数	構成比
市内で買物	23	8.6%	54	20.5%
市内で飲食	26	9.7%	75	28.4%
市内観光	10	3.7%	21	8.0%
特になし	37	13.8%	29	11.0%
自宅(ホテルなど)から直接来た	133	49.6%		
自宅(ホテルなど)へ直接帰る			63	23.9%
その他	52	19.4%	51	19.3%
回答者数	268	100.0%	264	100.0%
無回答	25		29	

乗車前行動	→	乗車後予定	回答数	構成比※
自宅などから直接来た	→	自宅などへ直接帰る	49	18.8%
自宅などから直接来た	→	特になし	5	1.9%
特になし	→	自宅などへ直接帰る	2	0.8%
特になし	→	特になし	22	8.4%
合計			78	29.9%

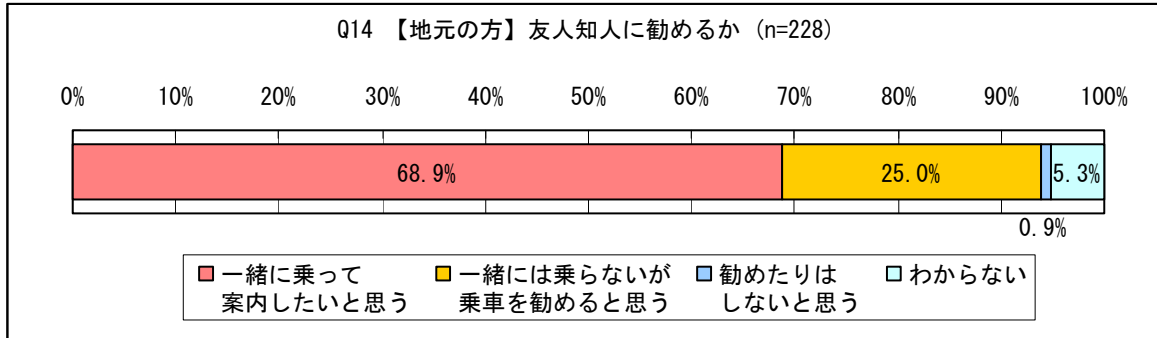
※行動(予定)について乗車前後のどちらも回答している有効回答数261を母数とした構成比

6) 体験型観光としての魅力

①友人・知人への口コミ：地元

Q 仮に釧路で継続的に水陸両用車が運行された場合、道外や札幌などから友人・知人が来たら、「一緒に乗って案内する」あるいは「乗車を勧める」と思いますか。

「一緒に乗って案内したい」が68.9%、「乗車を勧める」が25.0%と、両方を合わせると93.9%を占める。

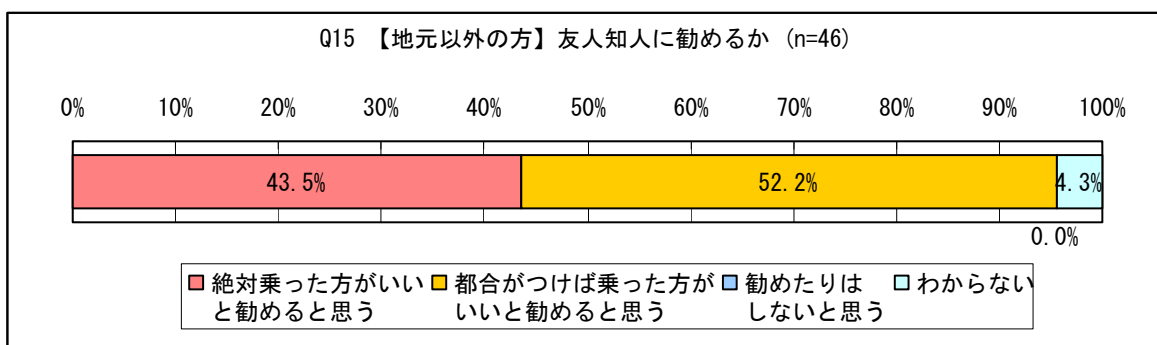


	回答数	構成比
一緒に乗って案内したいと思う	157	68.9%
一緒に乗らないが乗車を勧めると思う	57	25.0%
勧めたりはしないと思う	2	0.9%
わからない	12	5.3%
合計	228	100.0%

②友人・知人への口コミ：地元以外

Q 仮に釧路で継続的に水陸両用車が運行された場合、北海道へ旅行される友人や知人に、釧路での水陸両用車の乗車をお勧めすると思いますか。

「絶対乗った方がいいと勧める」が43.5%、「都合がつけば乗った方がいいと勧める」が52.2%と両方をあわせると95.7%を占める。

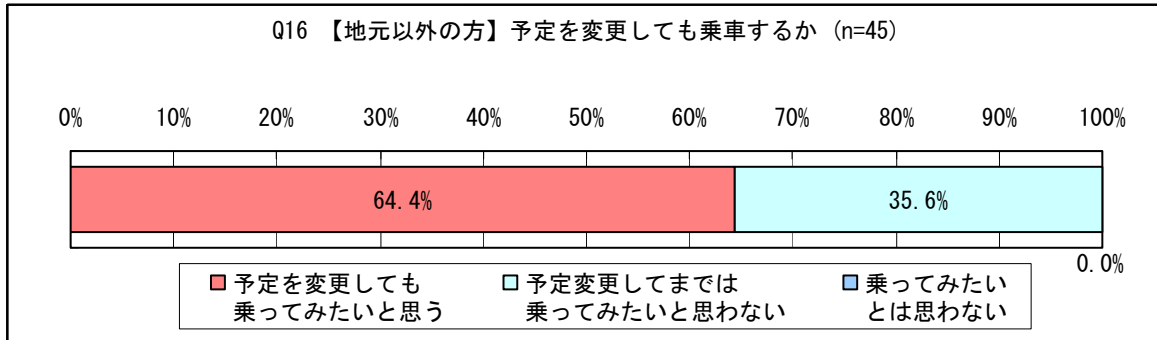


	回答数	構成比
絶対乗った方がいいと勧めると思う	20	43.5%
都合がつけば乗った方がいいと勧めると思う	24	52.2%
勧めたりはしないと思う	0	0.0%
わからない	2	4.3%
合計	46	100.0%

③旅行の予定変更について：地元以外

Q 北海道を旅行している途中で「釧路で水陸両用車が運行している」という情報を知った場合、旅行の予定を変更しても乗ってみたいと思いますか。

「予定を変更しても乗ってみたい」が64.4%と約2/3を占める。
 一方「予定を変更してまでは乗ってみたいと思わない」は35.6%となっている。



	回答数	構成比
予定を変更しても乗ってみたいと思う	29	64.4%
予定変更してまでは乗ってみたいと思わない	16	35.6%
乗ってみたいとは思わない	0	0.0%
合計	45	100.0%

7) 乗車料金について

① 妥当な料金 (金額自由記入)

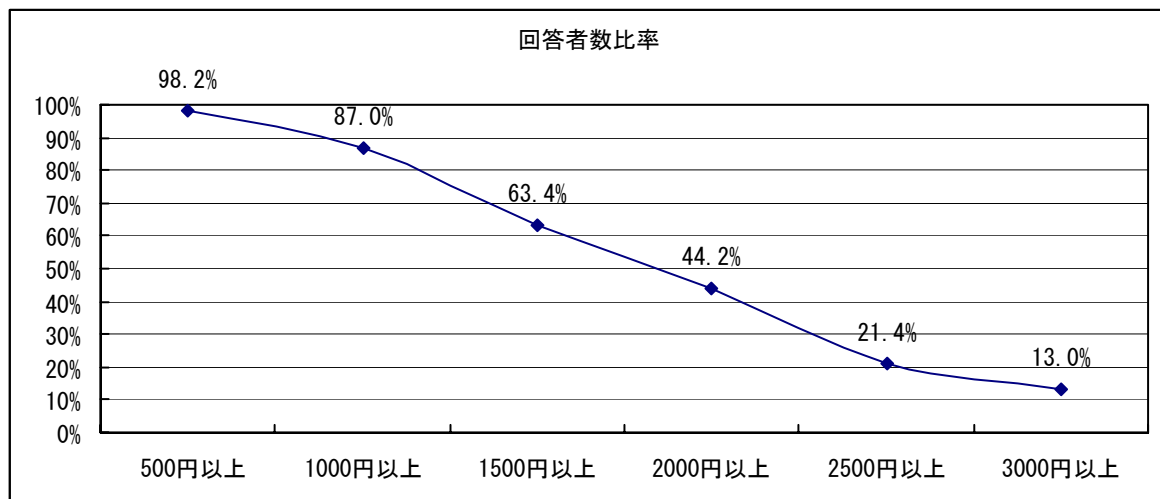
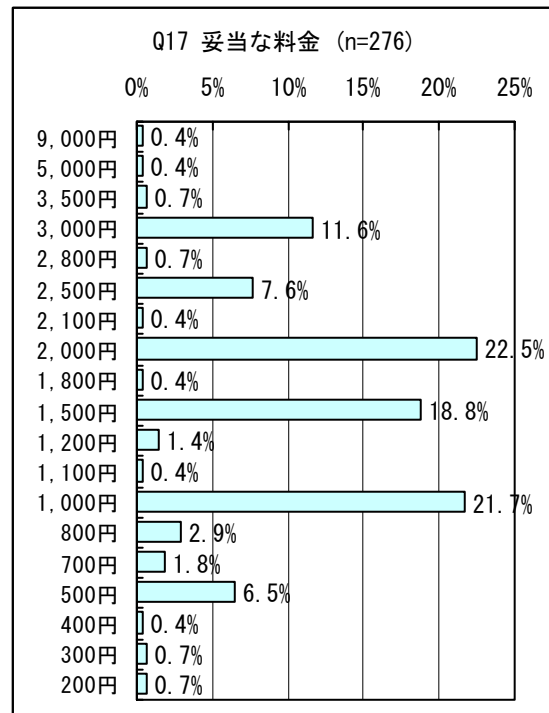
今回の水陸両用車の乗車料金として妥当と考える料金を自由記入してもらった。

回答者の平均金額は1,693円、最高回答は9,000円、最低回答は200円であった。

回答が最も多かったのは2,000円で22.5%、次いで1,000円の21.7%、1,500円の18.8%の順となっている。

1,000円以上の合計は87.0%であるが、2,000円以上となると44.2%、3,000円以上は13.0%となる。

	回答数	構成比
9,000円	1	0.4%
5,000円	1	0.4%
3,500円	2	0.7%
3,000円	32	11.6%
2,800円	2	0.7%
2,500円	21	7.6%
2,100円	1	0.4%
2,000円	62	22.5%
1,800円	1	0.4%
1,500円	52	18.8%
1,200円	4	1.4%
1,100円	1	0.4%
1,000円	60	21.7%
800円	8	2.9%
700円	5	1.8%
500円	18	6.5%
400円	1	0.4%
300円	2	0.7%
200円	2	0.7%
回答者数	276	100.0%
回答者平均金額		1,693円
無回答	17	



回答金額の平均値について、いくつかクロス集計を行った。

【満足度と平均金額】

当然ながら満足度が高い方が平均金額も高く、大変満足と満足の差は約270円である。

【申込み形態・同行者等と平均金額】

申込み形態別に見ると、平均金額が最も高いのは家族(夫婦二人)で1,960円、最も低いのは家族(小さな子供連れ)で1,405円であり、その差は約560円である。

【年代・性別と平均金額】

年代別・性別に見ると、平均金額が最も高いのは40代男性で1,954円、次いで50代男性の1,857円となっている。

10代、70代は回答金額が低くなっているが、ここでサンプル数の少ない10代、20代、70代を除いた中でみると、40代女性が最も低く、1,375円である。

満足度	平均金額
大変満足	1,824
満足	1,553

同行者等	平均金額
一人で応募	1,711
友人や知人と	1,571
家族(夫婦二人)	1,960
家族(小さな子供連れ)	1,405
家族(成年した子と親)	1,619
家族(その他)	1,677
その他	1,643
関係者等として乗車	1,847

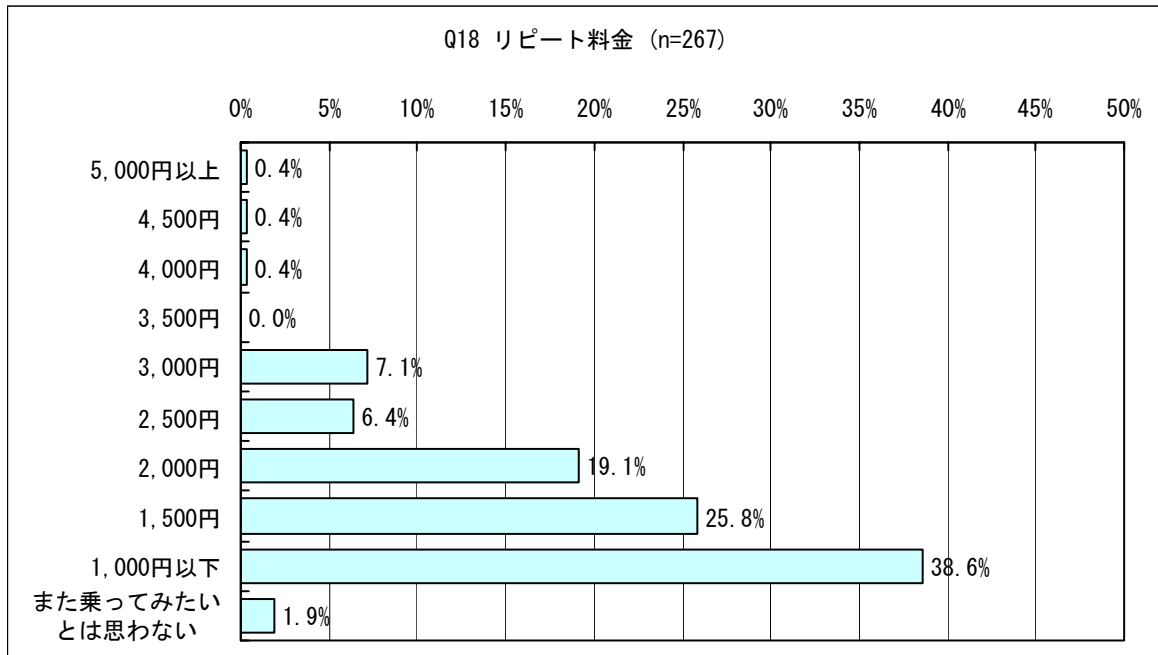
年代・性別	平均金額	
	男性	女性
10代	1,117	1,450
20代	1,813	1,518
30代	1,495	1,650
40代	1,954	1,375
50代	1,857	1,856
60代	1,843	1,633
70代	1,500	1,250

※ 単位はいずれも円

②レポート料金

Q 地元の方であれば「年に数回乗ってもいい」、地元以外の方であれば「釧路に来るたび乗ってもいい」と思える料金はどれに近いですか。

地元の方には「年に数回乗ってもいい」、地元以外の方には「釧路に来るたび乗ってもいい」と思える料金を聞いたところ、1,000円以下が最も多く38.6%、次いで1,500円が25.8%となっている。2,000円以上の合計は33.7%、3,000円以上の合計は8.2%である。



	回答数	構成比
5,000円以上	1	0.4%
4,500円	1	0.4%
4,000円	1	0.4%
3,500円		0.0%
3,000円	19	7.1%
2,500円	17	6.4%
2,000円	51	19.1%
1,500円	69	25.8%
1,000円以下	103	38.6%
また乗ってみたいとは思わない	5	1.9%
合計	267	100.0%
無回答	26	

【地元関係者 アンケート調査結果】

1) 実証運行期間中の効果について

具体的な数値回答としては、乗車ポイントとなったフィッシャーマンズ・ワークMOOの売上データ（全館）について、以下の回答が寄せられている。

「売上高」「客数」とも対前年比で増加

＜売上前年比＞123.4% ※特に「飲食部門：150%」

＜客数前年比＞121.1%

寄せられた意見としては、効果ありと効果なしに大きく二分された。

【アンケート回答意見】

MOO売上データ

・9/20～23の期間中のMOO全館の「売上高前年比」「客数前年比」は増加した。

＜売上前年比＞ 123.4% ※特に良かった部門は「飲食」で、平均前年比150%

＜客数前年比＞ 121.1%

問合せがあった

- ・観光客や市民から問合せがあった。
- ・募集を締め切った後に問い合わせが数件あった。

効果はあったと思う

- ・効果は大いにあったと思う。
- ・道内初ということで話題性はあるかと思う。

効果はなかった

- ・特に目立った動きはなかった。
- ・実証運行期間が短く、乗客も関係者と抽選で選ばれた人に限定されていたため、一般客の増加にはつながらず、来客数や売上げに対する効果はなかった。
- ・大きな効果はなかった。

2) 市街地や観光活性化の可能性について

「水陸両用車の運行は、市街地や観光の活性化に寄与するか」という問に対しては、大半の方が「中心市街地の活性化や観光の魅力向上等に効果がある」と回答している。

【アンケート回答意見】

寄与すると思う

- ・釧路の1つの観光としては、とても面白いと思う。
- ・観光の話題づくりとしては面白いと思う。特に海から見た陸の様子は感動する。
- ・発着周辺の施設については活性化になると思う。
- ・お客の好奇心をくすぐり、乗車席の目線の高さによる普段と違った風景が見られたこと、海から見た街の様子の新鮮さ、水陸両用車の乗降時の非日常性に対する好奇心などを考え、水陸両用車の効果は大きい。
- ・水陸両用車の営業は、市街地の活性化や観光客の増加に寄与すると思う。
- ・両用車のできた経過や歴史を合わせて宣伝することによっては、観光的に効果が期待できると思う。
- ・話題性はあったので、寄与すると思う。
- ・大変魅力的で、少なからず寄与する。釧路地方には川がいくつも有り、川上り・川下りが出来るからです。
- ・観光客の増加は分からないが、釧路川周辺の活性化は大いにあると思う。
- ・日本に何台も無い車なので、それを目当てにした観光客は必ずあると考えられる。
- ・寄与すると思う。釧路川は古くは木材、硫黄等の搬出。現在は湿原と海を結ぶ自然資源であるが、市民が川に親しむツールが無いので、市民にとっても新鮮。
- ・ホテルや旅行代理店との連携により、観光客の集客は期待できると思う。

寄与すると思う（条件もしくは疑問付き）

- ・料金の設定により、観光客の増加に寄与するものと考えられる。
- ・近隣からの観光客増加にはつながると思う。ただし、定期的な行路ルートの見直しが必要だと思う。
- ・物珍しさから言えば可能性はあると思うが、飽きられないか？
- ・運行のシーズンや期間を考慮したり等、やり方によると思います。
- ・考えられるが、場所によっては違ってくるのではないのでしょうか。コースの選択が難しい。
- ・定期運行となれば寄与すると思うが、価格の設定によっては利用者が少ないのでは。

活性化にはつながらない

- ・（観光客の増加に寄与するものと考えられるが）市街地については車両が通過するだけとなっており、活性化にはつながらない。
- ・現段階では無理だと思います。住民の利用できるコース、料金等を掌握し、住民利用を取り込まないと、事業が難しいと思います。

環境整備等が必要

- ・既存の状態では、まず環境面の見直しが必要。（美観エリアの設定等）
- ・水陸両用車の導入を論じる前に将来の市街地エリアのあるべき姿などランドデザインをしっかりとって、その上で水陸両用車の導入が望ましいと考えられれば積極的に検討するべきと思うが、現時点では時期尚早とはいえないだろうか。
- ・釧路に来ていた観光客の方は利用すると思うが、目玉を水陸両用車にする場合、旅行会社の協力が必要。

通年運行は難しい

- ・通年運行は、シーズンオフにおける観光客の減少、気候の件、冬季の観光メニューなどを考慮すると難しい。
- ・通年運行は難しいと思うので、営業形態の工夫が必要。
- ・冬期間は運行できるのか？

3) 生活交通としての可能性について

「水陸両用車は、生活交通の一部になりえるか」という問いに対しては、ほとんどの方が「車両の構造的な問題等から公共交通には向かない」と回答している。

【アンケート回答意見】

成り立たない・考えられない

- ・交通手段とは考えられない。
- ・車体の構造上、生活交通の一部とは考えられない。
- ・水陸両用車について言えば、海からの上陸後に水洗いの必要があるという点だけを取り上げても、実用的とは言えないように思われた。
- ・生活交通としては、車体の重量からして燃費のリスクがあり、無理だと思います。
- ・交通はまったく無いと思います。釧路人は生活交通には使いません。
- ・生活交通としては構造的に不適。稼働日数（冬期間11～4月）上の問題が一番のネック。
- ・水陸両用車は、海上を走行することで魅力を発信しているものであり、陸上走行のみでは利便性が悪く、生活交通の一部としては成り立たない（スピードが遅い）。
- ・現段階では無理だと思います。住民の利用できるコース、料金等を掌握し、住民利用を取り込まないと、事業が難しいと思います。
- ・生活交通の手段とはならないと思う。

難しいと思う

- ・運賃やルート設定は難しいと思う。
- ・生活交通として考える場合、料金設定が問題。路線バスと同じ設定なら、継続は難しい。

- ・生活交通の一部として…と考えると、以前あった「くるりん」と同じことになるのでは？
(注：くるりん：中心市街地循環バス：H10.6無料で運行開始、H13.2有料化、H17.4運行廃止)
- ・水陸両用車が生活交通の手段としては難点がある。それは、乗降の在り方に無理がある。
- ・コース設定にもよるだろうが、難しいのではないかと思う。

条件次第

- ・経費が何とかなら大丈夫ではないか。
- ・需要があれば成り立つと考えられます。その需要があるのか無いのかは、私は調査していないので、コメントは差し控えます。
- ・定期観光バスとしての公共交通手段としては有効。
- ・個人的には、釧路市中心市街地から海に入り、西港に上陸するのならば、バスの代用として利用してもいいかもしれない。

必要な事柄など

- ・もっと中心部に行きたいと思えるスポットがあれば…と。楽しいモノ、行きたいところがあれば、お金を払ってでも行くと思う。
- ・料金の設定次第では「観光ツール」として取り入れるのも可。
- ・陸上交通では人と環境に配慮したLRTもあるし、坂の多い地域ではケーブルカータイプのものも考えられる。また、水上交通では水上バスの導入も検討の余地があると思う。水上交通とは言えないが、観光遊覧船の導入（復活？）も検討課題だと思う。
- ・導入に際してツアーとの連携、個人のお客さんも気軽に楽しめるシステム。営業運行にしても、生活交通の一部としてもよほどの計画と準備が必要だと思う。
- ・シーズンオフにおいても、街の観光バス（天気の良い時には海にもおりる）として運行することは可能である。その時の説明個所はたくさんあるが、降りて見学場所はMOO、まなぼっと、展望台と美術館、コールマインと石炭資料館、博物館、遊学館、日本製紙、西港、中央埠頭、新設体育館、港文館、なつかし館、＜蔵＞、釧路湿原展望台と木道、釧路湿原一周などがある。
- ・現在あるバスとの折り合いはどうなるのか考える必要がある。料金の問題、水上ではどの区間を利用するのか、もう少し検討する必要あり。
- ・市民価格などの設定も検討すべき。
- ・冬期間は使用できないので、夏場の観光用車両として特化すべきと思われる。
- ・導入に際しては低価格の設定。

その他

- ・都市間バスの運用も大変な中で、単なる交通機関なのか、それとも人集めなのか、よくわからない。

【経費概算】

①営業形態別の人件費・営業費等の検討

下表に、営業形態別人件費・営業費等の算出結果を整理した。算出条件は次ページ以降に記載しているが、人件費単価や事務所賃料、車両保管費用などは地域による金額差も大きいことから、実際の導入検討時にあたっては、地域の実情に応じた数値として算出することが必要である。

表－14 人件費・営業費等算出結果まとめ

単位：千円/年

	人件費等	営業費等	合計
A 通年営業 新規単独事業者	37,000	13,300	50,300
B 通年営業 既存地域事業者	21,300	7,900	29,200
C 季節営業 新規単独事業者	21,100	10,200	31,300
D 季節営業 既存地域事業者	7,100	3,400	10,500

A 通年営業：新規単独事業者

① 人件費等

	@	数量	金額 (千円/年)	備考
社員	運行管理者	1人	5,000	
	チーフドライバー	1人	4,500	
	サブドライバー	2人	7,200	
	事務・ガイドほか	3人	9,000	
パート・アルバイト	1,728千円/年・人	3人	5,200	@=20日×8時間×900円/h×12月
小計			30,900	
福利厚生費等	30,900千円/年	20%	6,100	福利厚生費、通勤費等（直接人件費の20%と設定）
人件費等 合計			37,000	

② 営業費等

	@	数量	金額 (千円/年)	備考
事務所賃料 (面積)	4,000円/m ² ・月	12月 100m ²	4,800	水光熱費込み
車両保管費用	100千円/月	12月	1,200	
広告宣伝費等	300千円/月	12月	3,600	
その他経費等	37,000千円	10%	3,700	消耗品費、通信費等（人件費の10%と設定）
営業費等 合計			13,300	

B 通年営業：既存地域事業者

① 人件費等

	@	数量	金額 (千円/年)	備考
社員	運行管理者	0人	0	不要
	チーフドライバー	1人	4,500	既雇用者による対応（ほぼ専任）
	サブドライバー	1人	3,600	既雇用者による対応などで人工数を減
	事務・ガイドほか	1.5人	4,500	既雇用者による対応などで人工数を減
パート・アルバイト	1,728千円/年・人	3人	5,200	@=20日×8時間×900円/h×12月
小計			17,800	
福利厚生費等	17,800千円/年	20%	3,500	福利厚生費、通勤費等（直接人件費の20%と設定）
人件費等 合計			21,300	

② 営業費等

	@	数量	金額 (千円/年)	備考
事務所賃料 (面積)	0円/m ² ・月	0月 0m ²	0	不要
車両保管費用	0千円/月	12月	0	不要
広告宣伝費等	300千円/月	12月	3,600	
その他経費等	21,300千円	20%	4,300	消耗品費、通信費等（人件費の10%と設定）
営業費等 合計			7,900	

C 新規単独事業者 季節営業

① 人件費等

	@	数量	金額 (千円/年)	備考
社員	運行管理者	1人	2,920	@=5000千円×7ヶ月/12ヶ月
	チーフドライバー	1人	2,630	@=4500千円×7ヶ月/12ヶ月
	サブドライバー	2人	4,200	@=3600千円×7ヶ月/12ヶ月
	事務・ガイドほか	3人	5,250	@=3000千円×7ヶ月/12ヶ月
パート・アルバイト	864千円/年・人	3人	2,600	@=8時間×900円/h×120日
小計			17,600	
福利厚生費等	17,600千円/年	20%	3,500	福利厚生費、通勤費等（直接人件費の20%と設定）
人件費等 合計			21,100	

② 営業費等

	@	数量	金額 (千円/年)	備考
事務所賃料 (面積)	4,000円/m ² ・月	12月 100m ²	4,800	水光熱費込み 通年で確保
車両保管費用	100千円/月	12月	1,200	通年で確保
広告宣伝費等	300千円/月	7月	2,100	営業期間中のみ
その他経費等	21,100千円	10%	2,100	消耗品費、通信費等（人件費の10%と設定）
営業費等 合計			10,200	

D 既存地域事業者 季節営業

① 人件費等

	@	数量	金額 (千円/年)	備考
社員	運行管理者	0人	0	不要
	チーフドライバー	1人	4,500	既雇用者による対応（ほぼ専任）
	サブドライバー	1人	3,600	既雇用者による対応などで人工数を減
	事務・ガイドほか	1.5人	4,500	既雇用者による対応などで人工数を減
パート・アルバイト	1,728千円/年・人	3人	5,200	@=20日×8時間×900円/h×12月
小計			17,800	
福利厚生費等	17,800千円/年	20%	3,500	福利厚生費、通勤費等（直接人件費の20%と設定）
人件費等 合計（1年間分）			21,300	
			↓	
人件費等（100日分）			7,100	運行日数分の賃金として年間の1/3と設定

② 営業費等

	@	数量	金額 (千円/年)	備考
事務所賃料 (面積)	0円/m ² ・月	0月 0m ²	0	不要
車両保管費用	0千円/月	12月	0	不要
広告宣伝費等	300千円/月	9月	2,700	2月～10月までの9ヶ月間と設定
その他経費等	7,100千円	10%	700	消耗品費、通信費等（人件費の10%と設定）
営業費等 合計			3,400	

②車両費等の設定

車両費等については、以下の条件に基づき設定した。

- 車両購入費：40人タイプ：8,000万円
：20人タイプ：7,000万円
- 開業資金：新規単独事業者のパターンのみ開業資金1,000万円を設定
- 資金調達：全額借入により調達するものと設定
借入条件等は下表のとおりとした

A・C 新規単独事業者				
◆40人乗り 車両購入費8,000万円 プラス 開業資金1,000万円				
条件	借入金	90,000 千円	⇒	毎年返済額 (千円/年) 10,400
	返済年数	10 年		
	借入利率	3.00 %		
◆20人乗り 車両購入費7,000万円 プラス 開業資金1,000万円				
条件	借入金	80,000 千円	⇒	毎年返済額 (千円/年) 9,300
	返済年数	10 年		
	借入利率	3.00 %		

B・D 既存地域事業者				
◆40人乗り 車両購入費8,000万円				
条件	借入金	80,000 千円	⇒	毎年返済額 (千円/年) 9,300
	返済年数	10 年		
	借入利率	3.00 %		
◆20人乗り 車両購入費7,000万円				
条件	借入金	70,000 千円	⇒	毎年返済額 (千円/年) 8,100
	返済年数	10 年		
	借入利率	3.00 %		

③維持・運行費の設定

水陸両用車の運行に係る燃料費、修繕費、点検費等については、事業者ヒアリングに基づき、年間の概算額を設定した。

なお、季節営業の維持運行費については、ヒアリングによる年間費用に季節営業日数（100日）を年間営業日数（322日）で除した数値を乗じて算出した。

表－15 維持・運行費

	維持・運行費(千円)	
	40人タイプ	20人タイプ
通年営業 (ヒアリング結果)	6,500	5,000
季節営業 (通年営業×100/322)	2,100	1,600

【乗車率の設定及び営業日数】

事業者ヒアリングに基づく平日休日別の乗車率の設定。

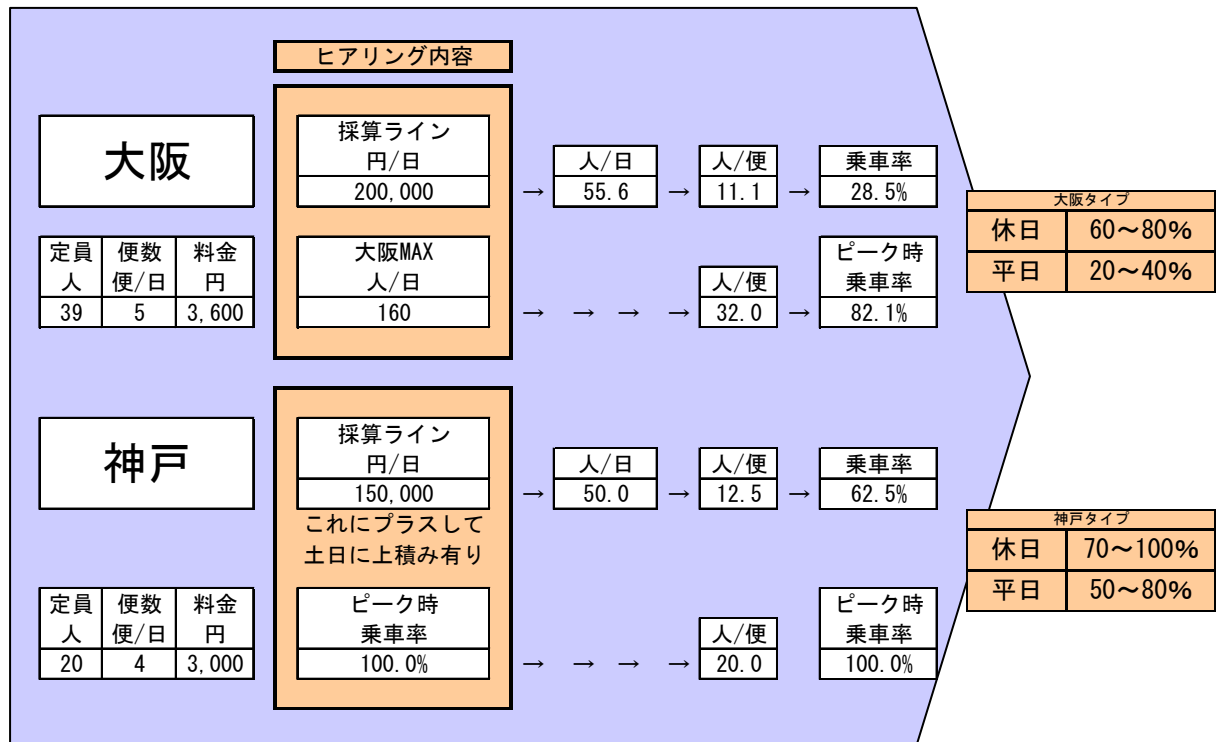


図-26 事業者ヒアリングに基づく乗車率（範囲）の設定

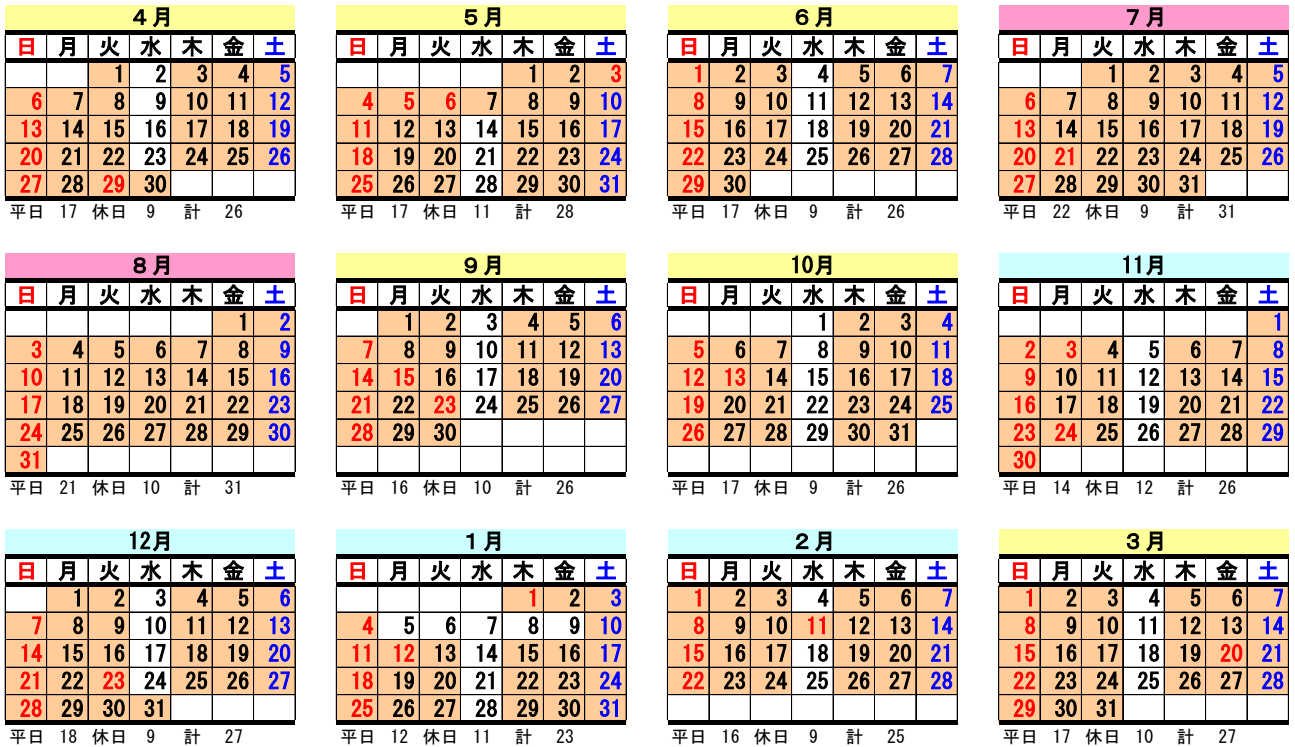


図-27 通年営業 営業日カレンダー

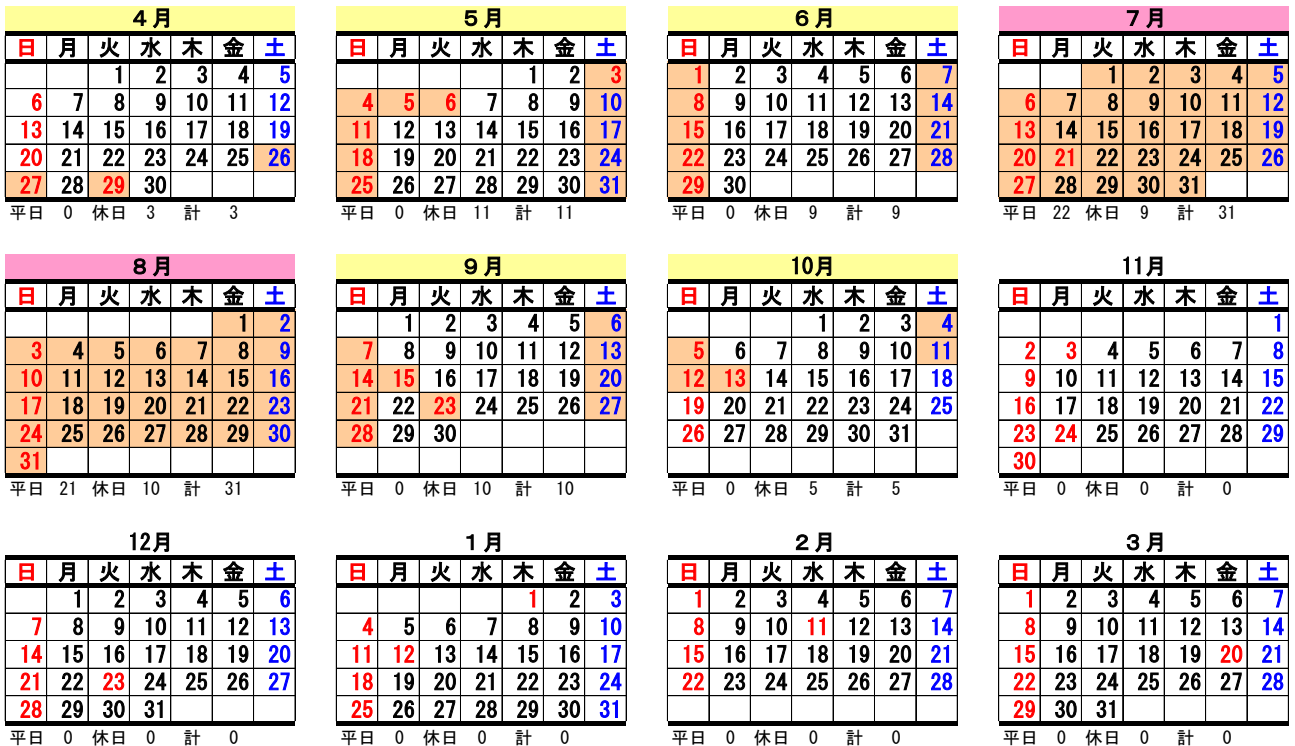


図-28 季節営業 営業日カレンダー

【年間必要マーケットボリューム試算の感度分析】

		通年営業				季節営業			
		A 新規単独		B 既存地域		C 新規単独		D 既存地域	
		40人	20人	40人	20人	40人	20人	40人	20人
年間経費	千円/年	67,200	64,600	45,000	42,300	48,200	45,600	21,900	20,200
年間営業日数	日	322	322	322	322	100	100	100	100
年間運行便数	便	1,509	1,509	1,509	1,509	500	500	500	500

X	乗車単価@	年間必要乗客数(人/年) : 年間経費 ÷ 乗車単価@							
	1700円/人 →				26,471				
2000円/人 →				22,500	21,150			10,950	
2500円/人 →		26,880		18,000	16,920			8,760	8,080
3000円/人 →		22,400	21,533	15,000	14,100			7,300	6,733

基本ケース(表-9と同じ… 支払意思額平均値:1,700円)

Z	乗車単価@	選択確率	年間必要マーケットボリューム(人/年) : X ÷ 選択確率							
	1700円/人	50.0%				52,941				
2000円/人	44.2%				50,905	47,851			24,774	
2500円/人	21.4%		125,607		84,112	79,065			40,935	37,757
3000円/人	13.0%		172,308	165,641	115,385	108,462			56,154	51,795

ケース①(各モニターの支払意思額の回答が100円多かった場合… 支払意思額平均値:1,800円)

Z①	乗車単価@	選択確率	年間必要マーケットボリューム(人/年) : X ÷ 選択確率							
	1700円/人	57.1%				46,358				
2000円/人	44.4%				50,676	47,635			24,662	
2500円/人	21.5%		125,023		83,721	78,698			40,744	37,581
3000円/人	13.4%		167,164	160,697	111,940	105,224			54,478	50,249

ケース②(各モニターの支払意思額の回答が500円多かった場合… 支払意思額平均値:2,200円)

Z②	乗車単価@	選択確率	年間必要マーケットボリューム(人/年) : X ÷ 選択確率							
	1700円/人	64.9%				40,787				
2000円/人	64.3%				34,992	32,893			17,030	
2500円/人	44.2%		60,814		40,724	38,281			19,819	18,281
3000円/人	21.4%		104,673	100,623	70,093	65,888			34,112	31,464

釧路における実証運行の結果を基に、各乗車モニターの支払意思額の回答が実際よりも100円多かった場合(ケース①)、500円多かった場合(ケース②)を想定して、表-9の年間必要マーケットボリュームの試算を行った。

図-14の曲線が右側にシフトすることを想定したものであり、支払意思額の平均値が上がれば選択確率が上がることから、必要なマーケットボリュームの規模がそれに伴って小さくなることが見て取れる。

